

特別支援学級等に関するアンケート調査
報告書

令和 2 年 4 月
小平市教育委員会

【目次】

| | | |
|---|--------------------------------------------------------------|----|
| 1 | 調査の概要..... | 1 |
| | (1) 調査の目的..... | 1 |
| | (2) 配付・回収数..... | 1 |
| | (3) 調査期間..... | 1 |
| | (4) 調査結果の見方..... | 1 |
| 2 | 調査結果..... | 2 |
| | 問1 現在、在籍する学年..... | 2 |
| | 問2 各学級・教室での指導は、何年生から受けているか..... | 2 |
| | 問3 各学級・教室を考えるようになった理由（あてはまる項目すべてに○）..... | 3 |
| | 問4 お子さんが、各学級・教室で指導を受けていることで、良かったと感じているところ（あてはまる項目すべてに○）..... | 5 |
| | 問5 各学級・教室についてどの程度満足しているか..... | 7 |
| | 問6 小平市教育委員会の特別支援教育の推進や充実に向けた取組への評価..... | 11 |
| | 【学校生活支援シートについて】..... | 15 |
| | 問7-1 「学校生活支援シート」の活用について..... | 15 |
| | 問7-2 「学校生活支援シート」を学校以外の機関に情報提供しているか..... | 15 |
| | 問7-3 (3) 学校生活支援シートについてのご意見・ご感想..... | 17 |
| | 【「個別指導計画」について】..... | 21 |
| | 問8-1 個別指導計画に基づいた指導や支援について..... | 21 |
| | 問8-2 個別指導計画についてのご意見・ご感想..... | 21 |
| | 【「こげら就学支援シート」について】..... | 25 |
| | 問9-1 「こげら就学支援シート」の活用について..... | 25 |
| | 問9-2 「こげら就学支援シート」の活用についてのご意見・ご感想..... | 25 |
| | 【小平市特別支援教育総合推進計画後期計画の各施策についてのご意見・ご感想】..... | 29 |
| | ●乳幼児期●..... | 29 |
| | 《早期発見・早期支援の充実》..... | 29 |
| | 《早期療育の充実》..... | 31 |
| | 《認定こども園、幼稚園、保育園での活動支援》..... | 34 |
| | ●小・中学校期●..... | 37 |
| | 《発達に遅れのある子ども等と家庭の支援》..... | 37 |
| | 《就学先の選択や円滑な接続の支援》..... | 39 |
| | 《放課後の生活の支援》..... | 42 |
| | ●卒業後●..... | 45 |
| | 《卒業後の機関に支援をつなぐ》..... | 45 |
| | 《就労支援》..... | 47 |

| | |
|-------------------------|----|
| 《地域でのかかわり、学ぶ場の提供》 | 49 |
| 【調査票】 | 50 |

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「小平市特別支援教育総合推進計画(第二期)前期計画」の策定にあたり、特別支援学級や特別支援教室、通級指導学級に在籍する児童・生徒の保護者を対象に、本市の小学校や中学校で行われている特別支援教育についての状況と意見等を把握するため、アンケート調査を実施しました。

(2) 配付・回収数

| 調査対象 | 配付数 | 回収数 | 回収率 |
|-------------------------|-----|-----|-------|
| 知的障がい固定学級 | 228 | 111 | 48.7% |
| 情緒障がい等通級指導学級 ・特別支援教室 | 421 | 219 | 52.0% |
| 難聴言語障がい通級指導学級 | 44 | 20 | 45.5% |

(3) 調査期間

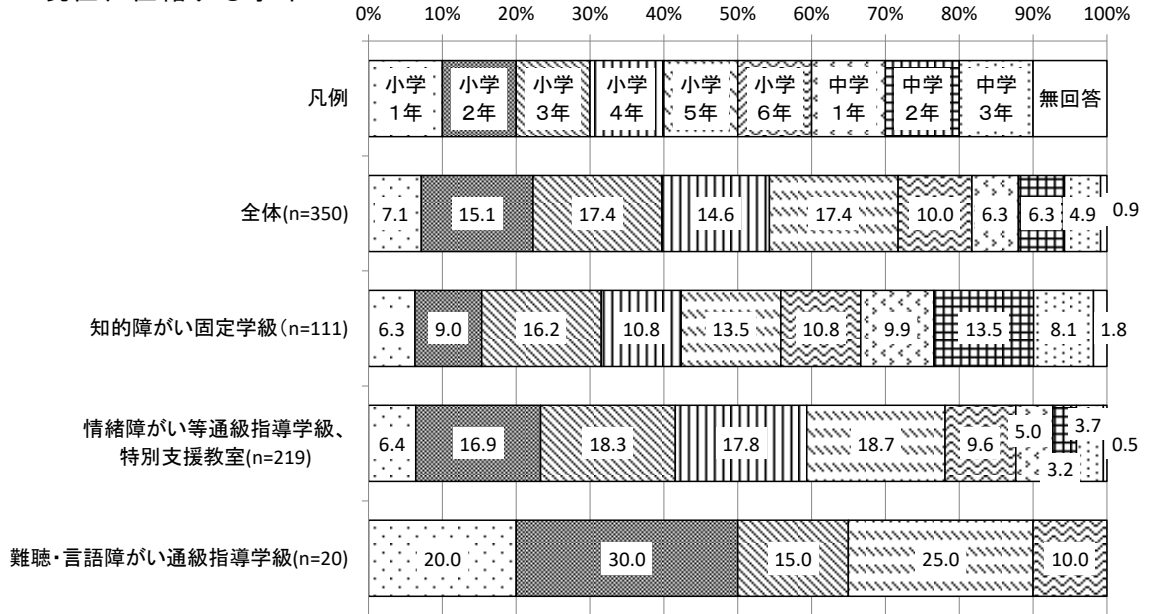
令和元年 11 月 5 日から 11 月 25 日まで

(4) 調査結果の見方

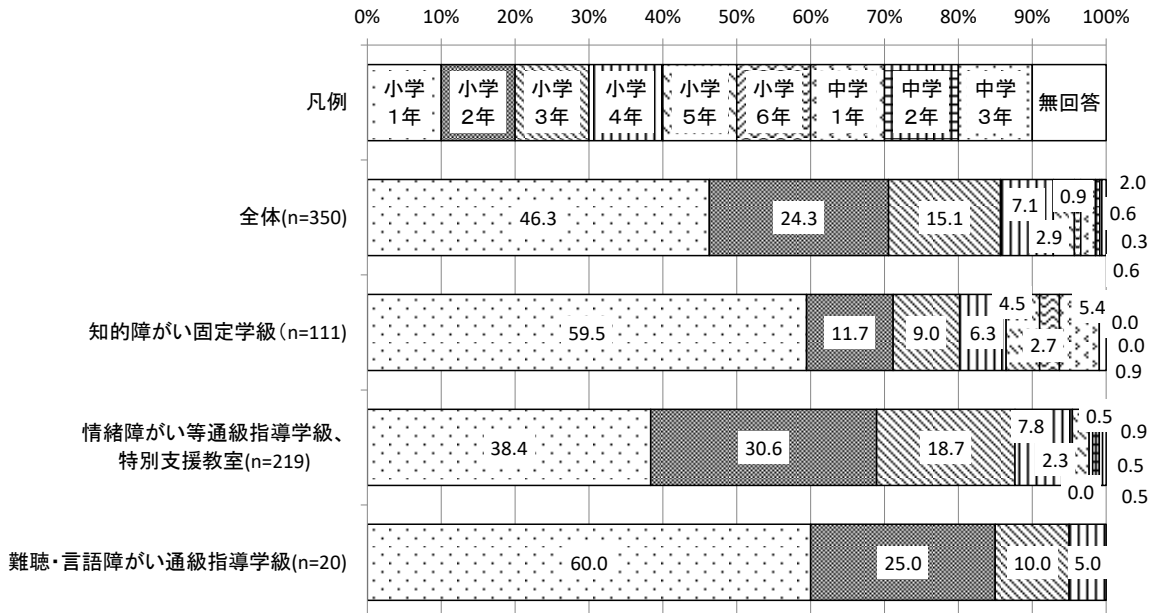
- ① 集計した数値(%)は小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示している。
そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値(%)を全て合計しても、四捨五入の関係で 100%にならないことがある。
- ② 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100%を超える。
- ③ 自由記述については、代表的な意見の一部を掲載する。
なお、文意を損なわない範囲で語句等を改めたものがある。

2 調査結果

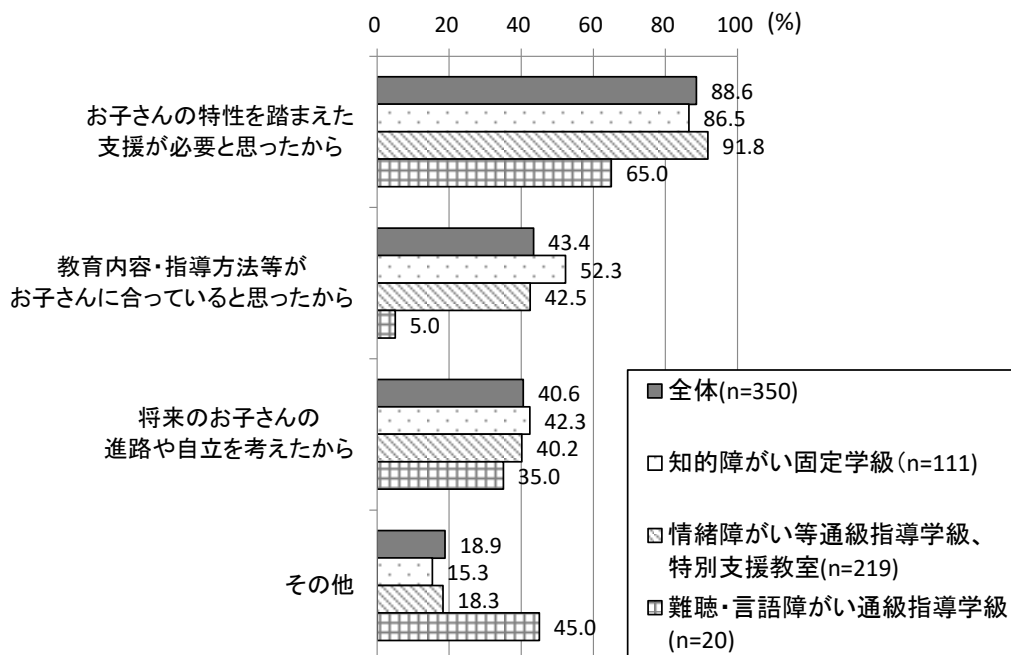
問1 現在、在籍する学年



問2 各学級・教室での指導は、何年生から受けているか



問3 各学級・教室を考えるようになった理由（あてはまる項目すべてに○）



【その他の回答内容】

●学校生活上の問題があった●

- ・人とのコミュニケーションがにがてで、ついていけなくて、人とのかわりをもっともってほしかったから。
- ・通常の学級になじめなかった。不登校になって通級をしていたが、不可になって行くところ（学ぶべき場所）を探せなかった。発達障がいグレーゾーンが分かって固定級に変わったが不登校が続いている。
- ・学校と家庭での様子が違うのでどうしていくのが良いか、アドバイスが欲しかった。通常の学級で孤立していた。

●人にすすめられた●

《担任教諭等にすすめられた》

- ・就学相談の判定が固定級だったため。通級は厳しいと言われた（知的障がいはない）。
- ・担任、スクールカウンセラーの先生に勧められたから。
- ・校長先生から通級を利用してみては？とお話があったため。
- ・幼稚園在園時の担任よりすすめられたから。

《医師等にすすめられた》

- 言語教室の先生や病院の先生に通常の学級は難しいと言われたから。
- 発達専門小児科で、発達検査などの結果をふまえて本人が辛い思いをしているため通級での支援をすすめられた。
- 2才時から通っている言語教室の先生、定期外来している病院（脳神経内科）の先生からのすすめもあったから。

●身体・心理的な問題があった●

- 感覚過敏（耳が聞こえすぎてストレスをかかえており、通級指導学級が望ましいと考えたため）、処理速度が特に遅いため。
- 吃音があったから。

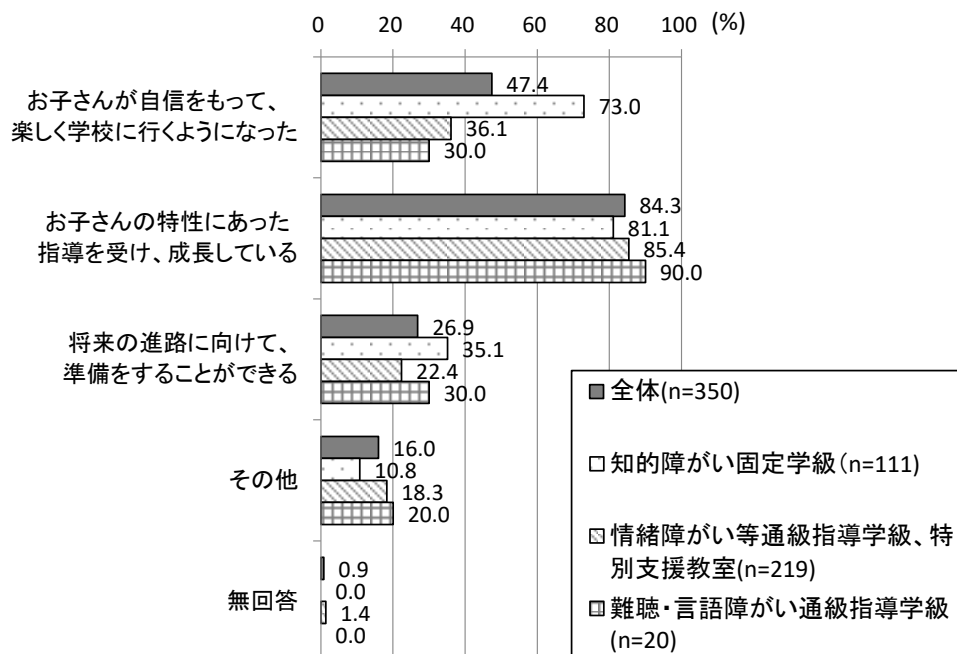
●本人や保護者の希望●

- 通常の学級で自信をなくしてしまうよりも、自信がもてるように指導をしてもらえるところの方が良いところを伸ばせると考えたからです。
- 学校生活が子どもにとって今のままでいいんだ。と、安心して思える場所を十分頑張っていることを実感してほしかったから。
- 普通学校に入学する上で通級指導が必要不可欠と思い、入学前から考えていた。
- 障がいを認めて支援を受けないと他の子や先生方に迷惑がかかると思ったから。
- 本人が「とても苦しいので、通わせて欲しい」と、言ってきたため。

●その他●

- 知的障がいという点では当てはまらないかもしれないが、個別の対応が必要ではないかと思い転学しました。
- 落ち着ける場が必要だったから。
- SST、コミュニケーション、対人関係に関する学びが必要だから。
- 本人にとって丁寧な支援が必要だとは感じていたが、SSTなどの特性に働きかける指導や、苦手なことを克服させる指導のみという印象をもっていたので、あまり気がすすまないまま利用を開始した。
- 教室以外に自分の不安等を話せる場所があると、本人にとって少し安心できるかもしれないと考えたから。

問4 お子さんが、各学級・教室で指導を受けていることで、良かったと感じているところ（あてはまる項目すべてに○）



【その他の回答内容】

●保護者と学校・教員との関係が良い●

- ・小学校時代の介助員の先生方による細やかなサポートと温かい言葉掛け、お人柄が本人の情緒の安定に繋がった。
- ・自分の悩みや特性のせいでうまくいかないことを第三者に相談することで冷静に対処する可能性が生まれる。
- ・専門員の先生に相談したり悩みを聞いていただけになった。授業での配慮について相談でき、担任の先生に情報を共有していただけになった。

●児童・生徒への指導や関係性が良い●

- ・クラスとは違い少人数で対応いただけるので、細やかなところまでみてもらえるので、ありがたいです。
- ・個別に苦手な算数の学習支援をしてもらえて親子で助かっている。子ども親も先生に友達関係の悩みなど相談できて助かっている。
- ・苦手な科目をフォローしてくれている。授業時間内に終わらなかった課題をやらせてくれる。

- 担任以外に子どもを理解してくれる先生にみてもらえる。通級の先生に相談や指導してもらえる。通級のある日は、学校行くのがんばってみようかなと思ってきている。
- 連絡帳で指導内容やクラスの様子が分かる。
- 通常の学級についていけない教科などをフォローしてくれているので、学習面で大きな遅れをとらないで過ごせています。

●児童・生徒に変化があった●

- 自身の特性を自分の心の中で分析し、他の児童や世の中の人々の様々な受け止め方や、考え方が皆違っている場合もあることを少しずつ理解し、又、理解しようと心掛ける努力をしようと、以前と比べて成長を感じる。まだまだ、途中ではあるが、クラスメートとの交流を以前と比べて真反対まで強く望み、その変化も通級指導学級での体験が土台となっている。
- 元々楽しく通っていたが、本人が学習面で困っている所があった。親では限界があり、それを親子共々先生から教えてもらい、大変助かっている。ほめ上手なので、子どももやる気が出て、すばらしいシステムだと思う。
- 「自分は、異常ではない」と「吃音は、自分の特徴である」と「はずかしいことでは、ない」と、不安がなくなり、いろいろな行動に自信をもつことができるようになった。

●友人関係がよくなった●

- 固定級があることで、学校の通常の学級のお子さん達も理解があり、うまくやっていける。
- お友達から受ける刺激がとても成長させてくれる。
- 他の子からいじめられることがなかった。

●学校内の「居場所」となっている●

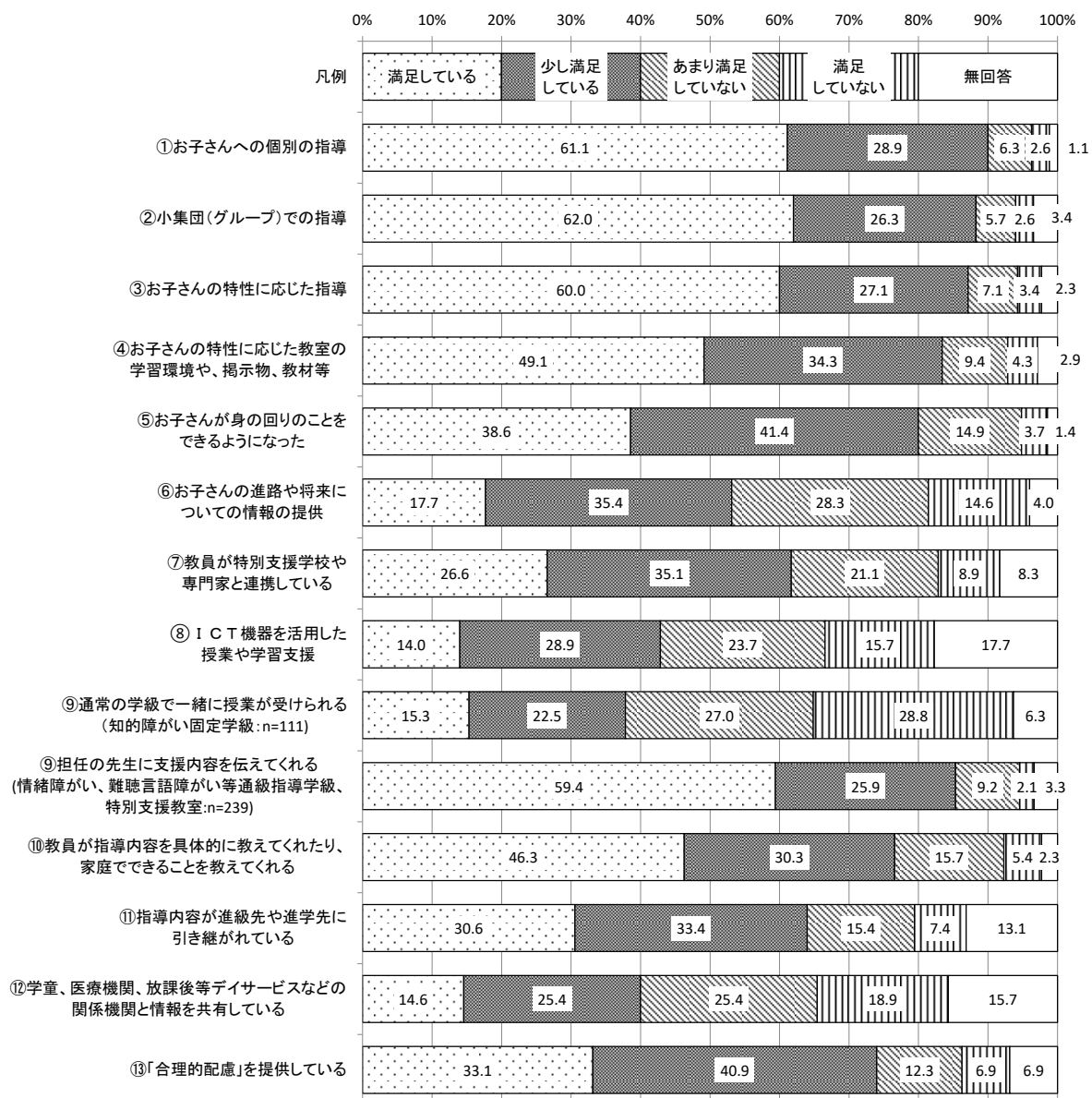
- 心のより所、困った時に安心してできる場所。
- 通常の学級の中で、苦手なこと（支援が必要な部分）に対してひどく叱られたり、排除されることがなくなった。

●その他●

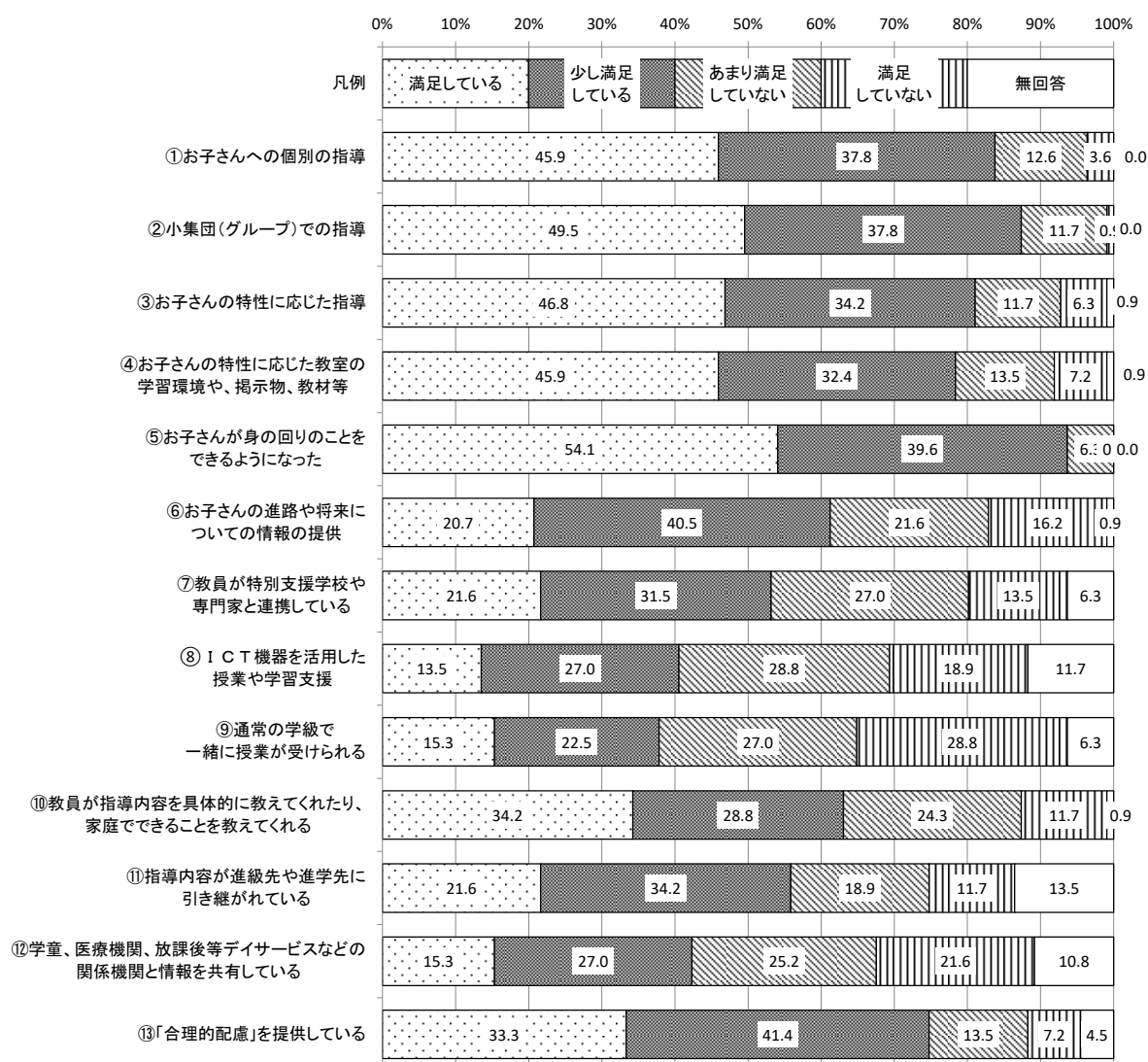
- 親子で、同じ仲間に出会える。
- 先生やお友達に子どもの特性を知ってもらえる。他の保護者の方に「通級に通っている」というだけで、説明しなくてもなんとなく子どもの様子を分かってもらえる。
- 良かったとは感じていない。変わっていないと感じている。
- ない。本人が負担になるやり方を強いられそうになり、現在も頼れる状態にない。

問5 各学級・教室についてどの程度満足しているか

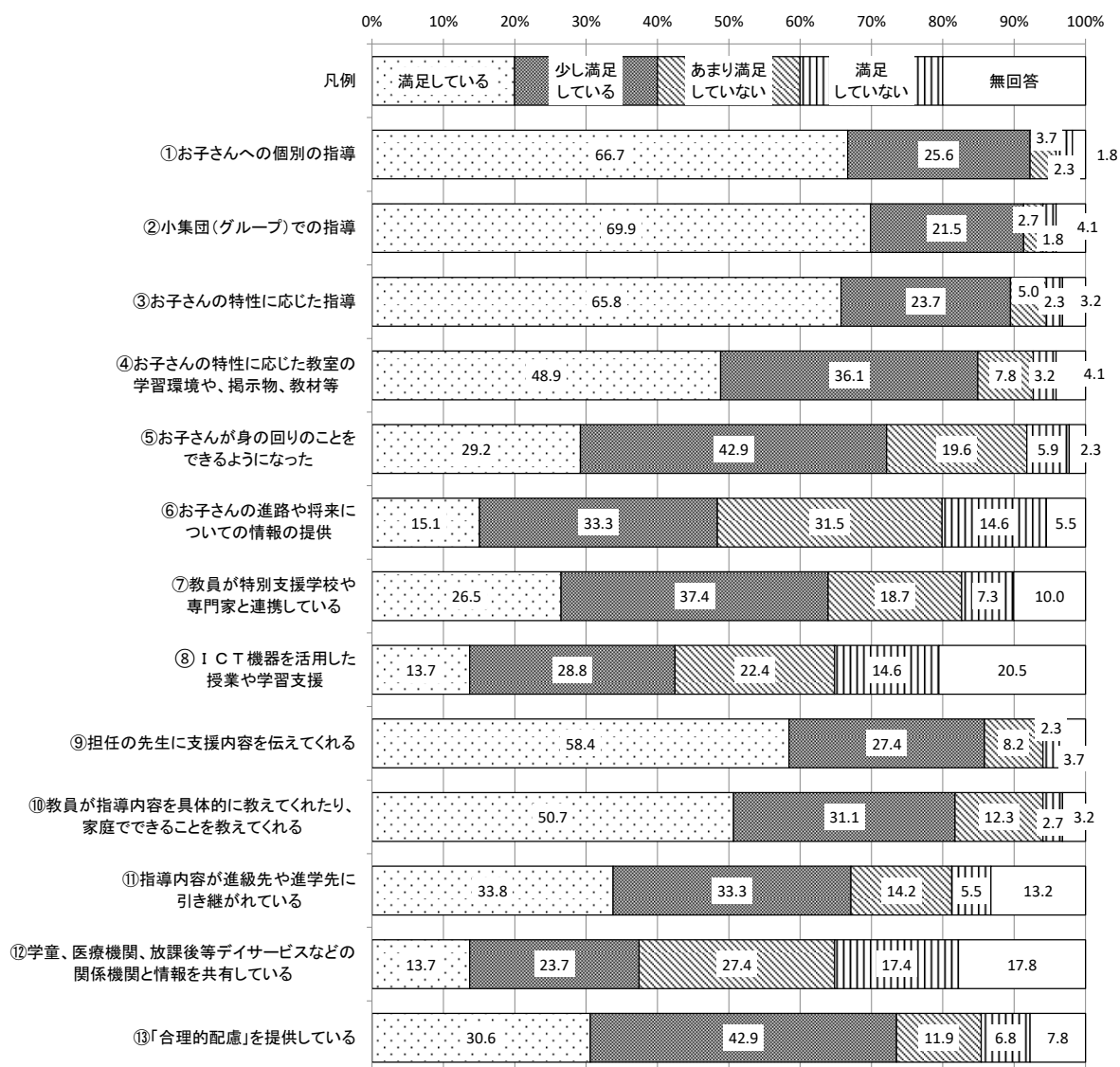
【回答者全体 (n=350)】



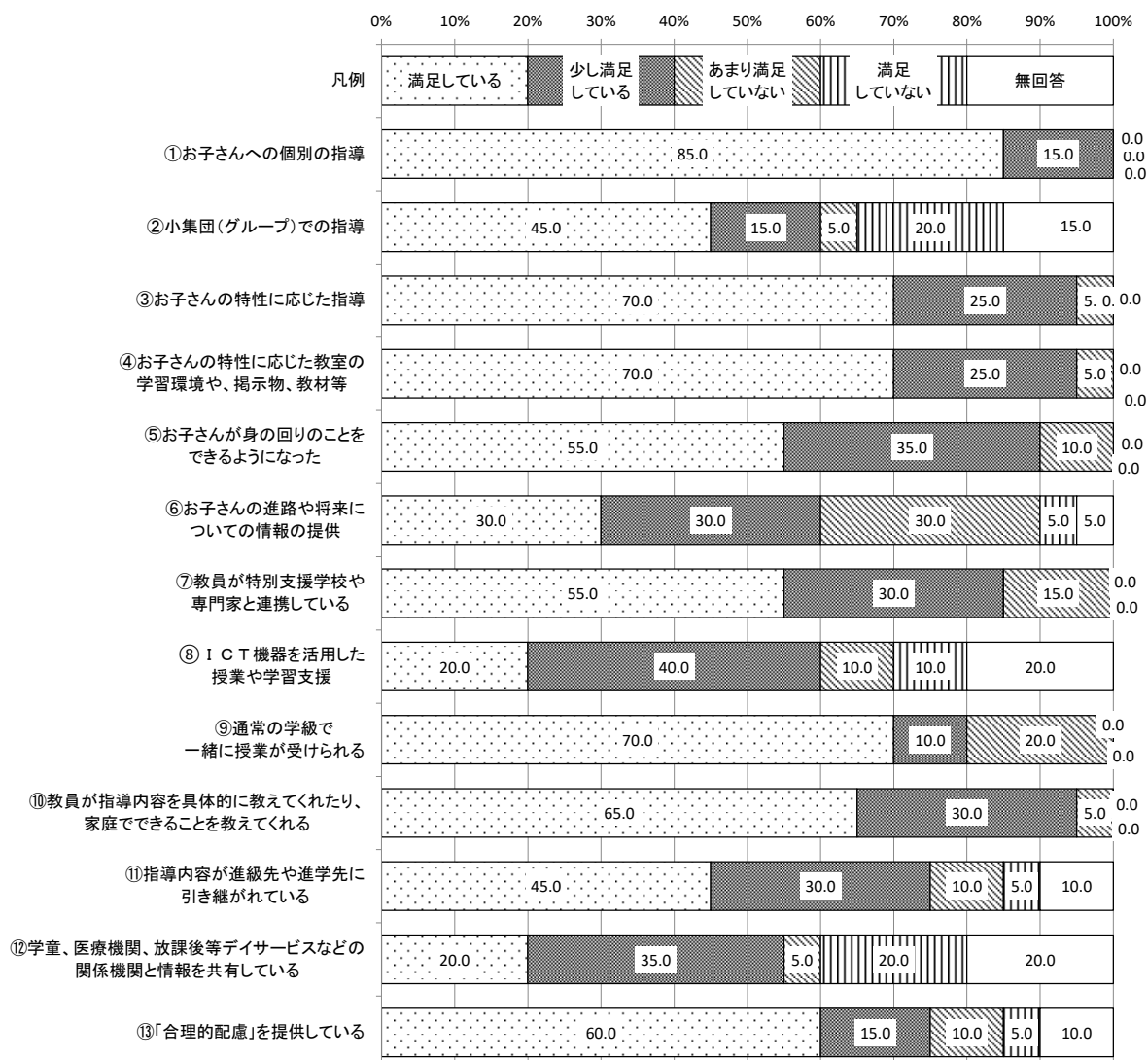
【知的障がい固定学級 (n=111)】



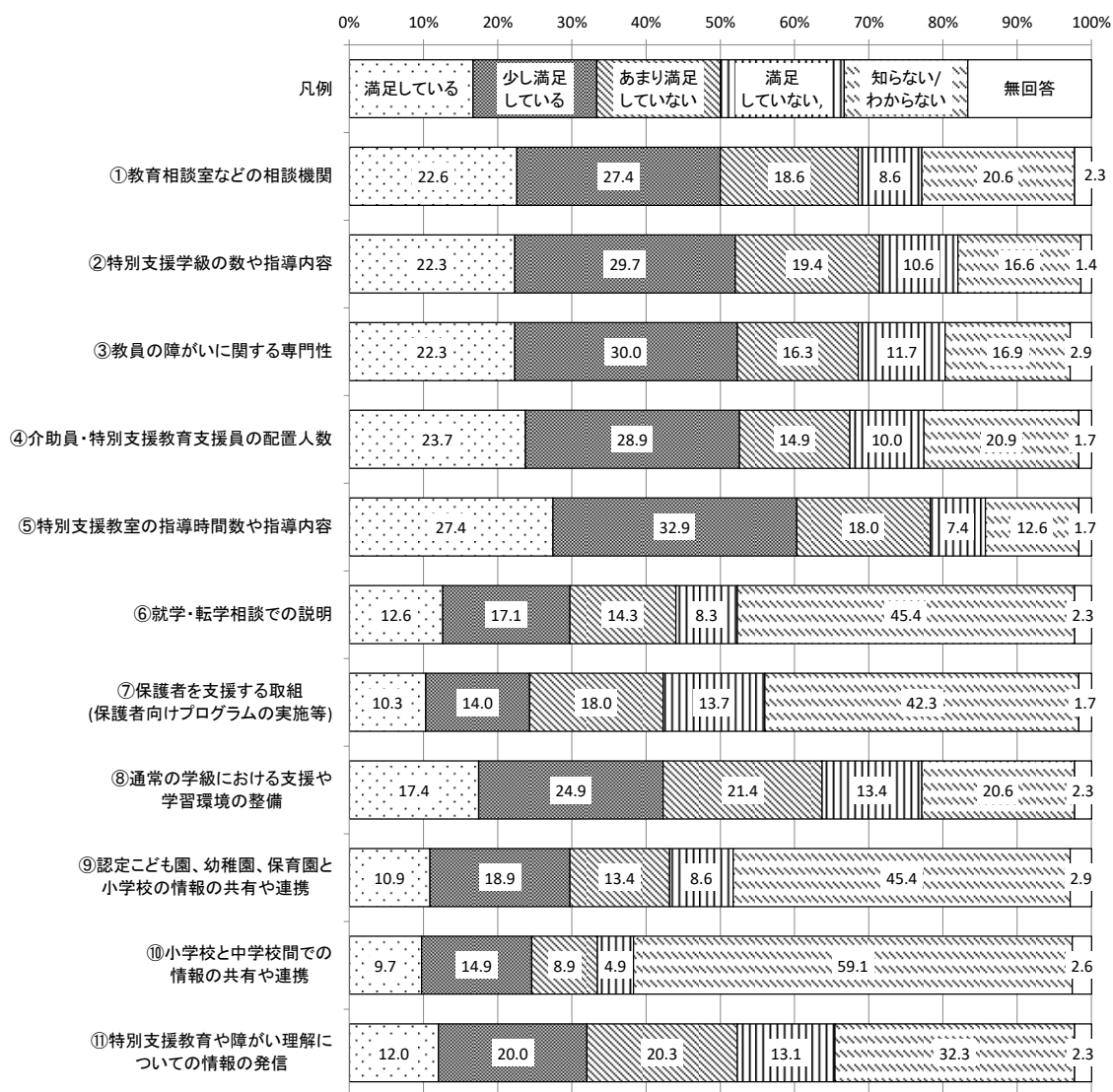
【情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室(n=219)】



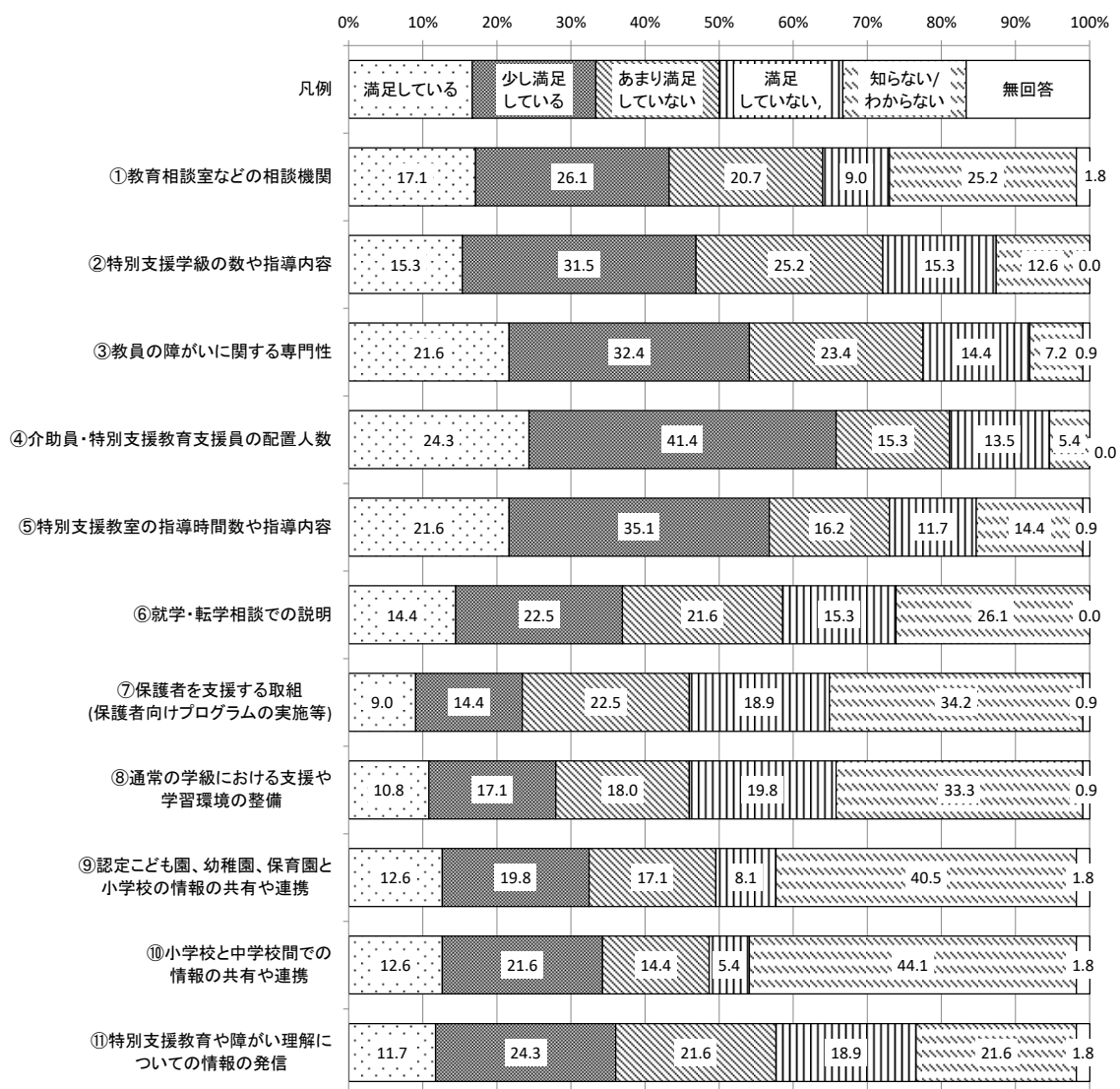
【難聴・言語障がい通級指導学級(n=20)】



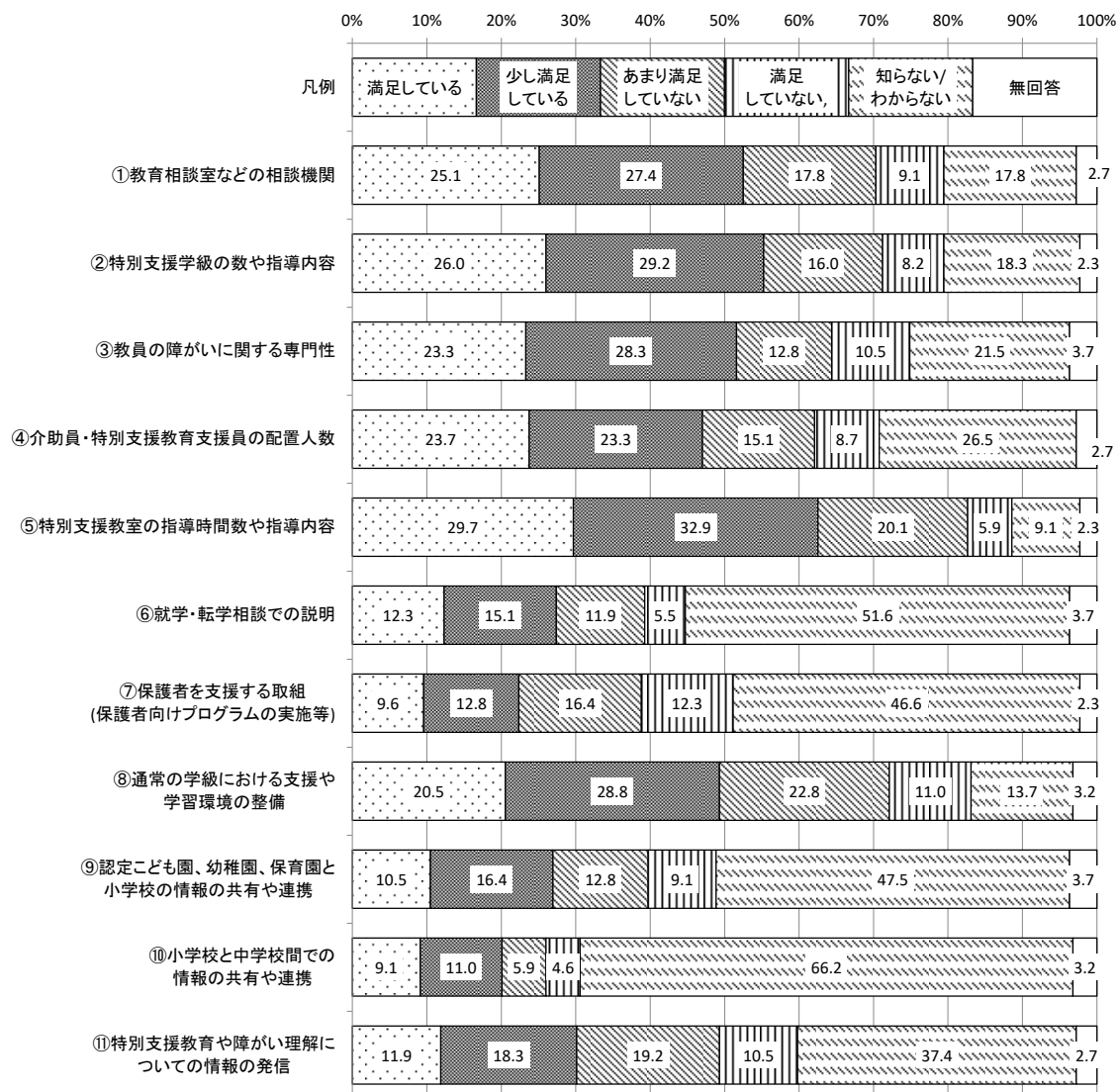
問6 小平市教育委員会の特別支援教育の推進や充実に向けた取組への評価
【回答者全体 (n=350)】



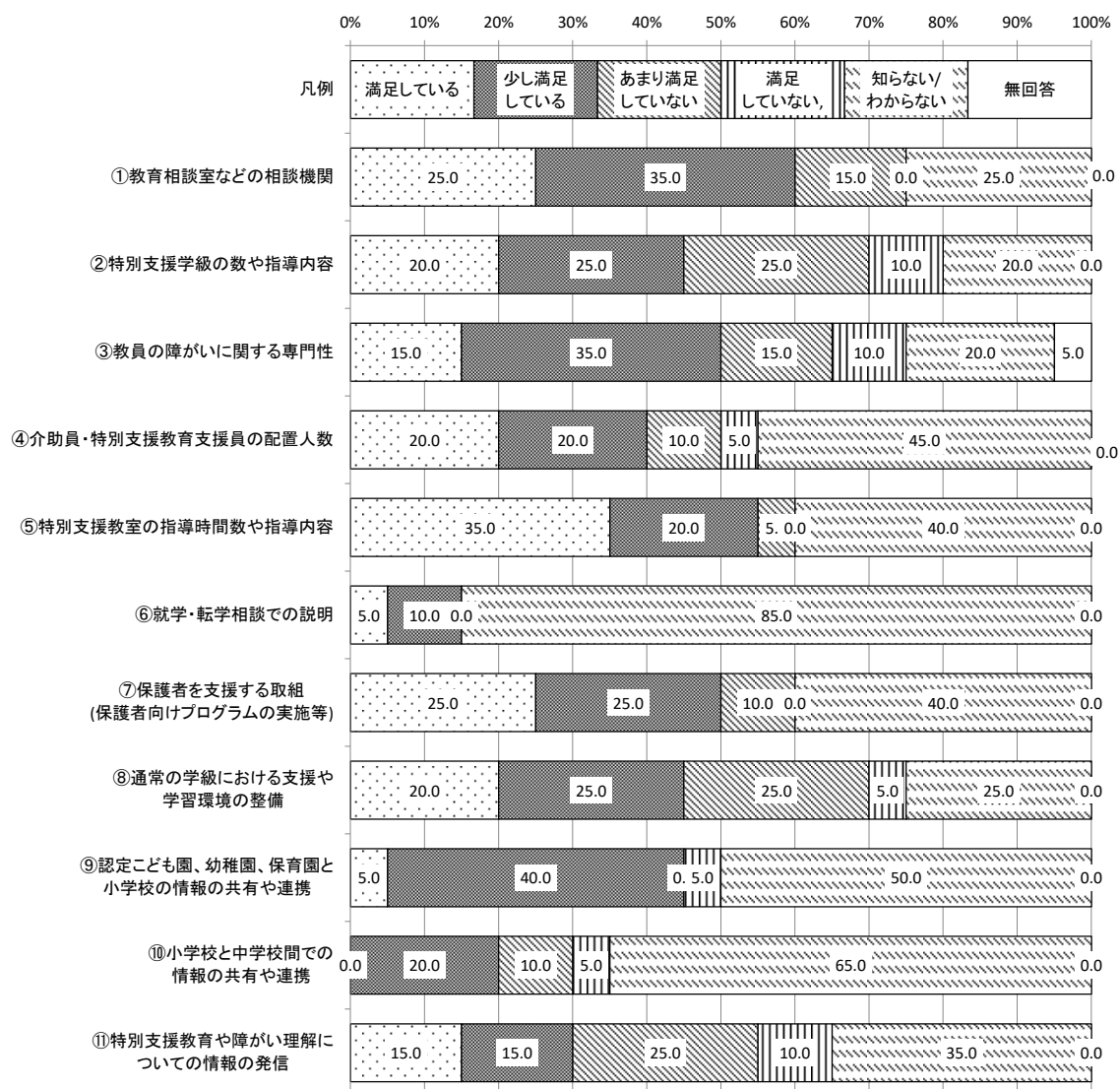
【知的障がい固定学級 (n=111)】



【情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室(n=219)】

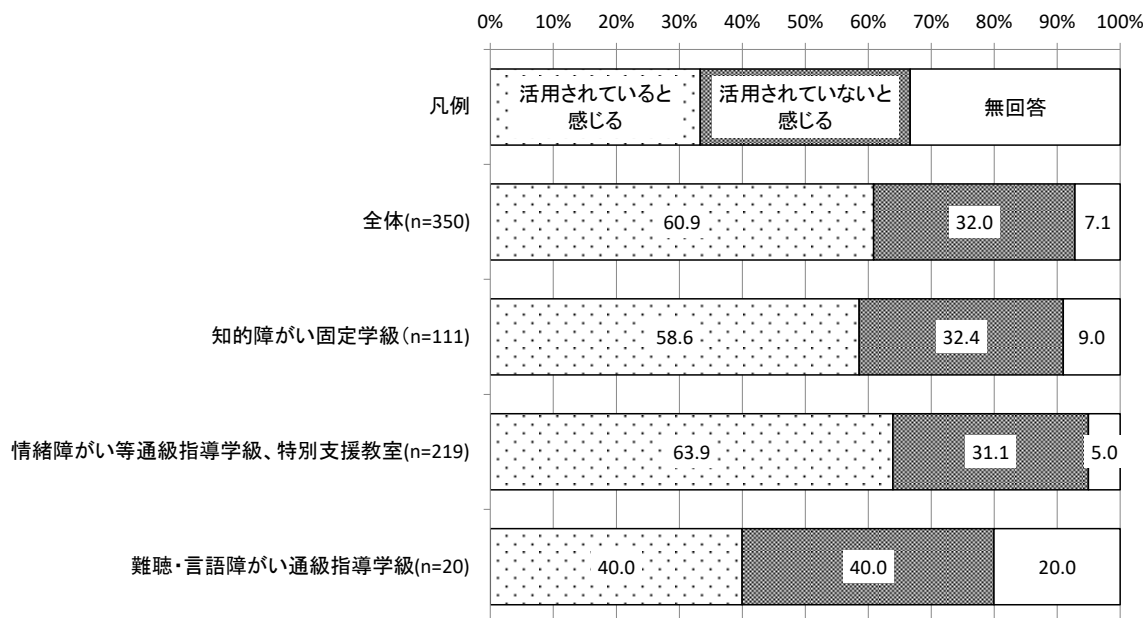


【難聴・言語障がい通級指導学級(n=20)】

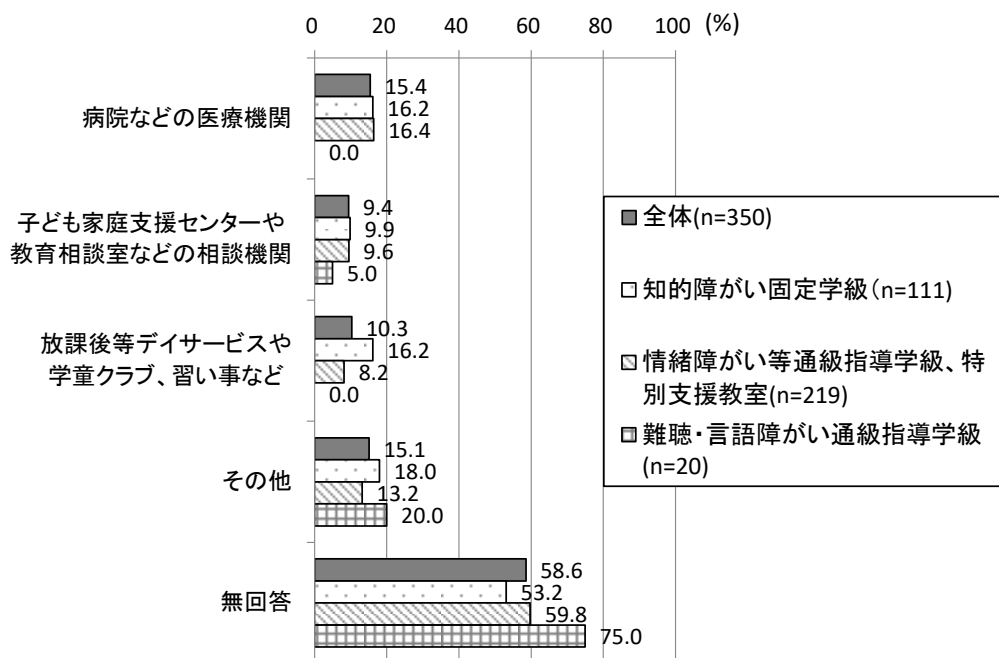


【学校生活支援シートについて】

問 7-1 「学校生活支援シート」の活用について



問 7-2 「学校生活支援シート」を学校以外の機関に情報提供しているか



【その他の回答内容】

提供していない=7.4% (n=26)

わからない=2.3% (n=8)

他の機関を利用していない=0.9% (n=3)

- 学校生活支援シートを利用していないためです。上記①～③どれにも必要だといわれたことがないです。関わったことがあるのは学童クラブくらいしかありません。
- 特性をその都度、口頭で説明。
- そもそもそのシートを外に提供できるのですか？ 初めて知りました。
- 学校生活支援シートの提出を求められたことがなかったので学校以外へ提出する発想がなかった。
- 今後、活用する予定です。

問 7-3 (3) 学校生活支援シートについてのご意見・ご感想

活用している、有効であるという意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 作成することにより、学校でも具体的な支援をしていただいている。
- ◆ 課題を具体的に認識することができて、それを目標に生活や学習に取り組める。
- ◆ 子どものことを本当によく理解した上で作成してくださっていると感じる。学校での様子やできていること、苦手なことがよく分かる。課題や目標に向けて分かりやすく具体的に記入しているので、安心して子どもをお願いすることができる。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 家庭でやるべきことが分かってよかった。先生方と目線を合わせていけるので安心できた。
- ◆ 保護者や本人の願いを伝えることによって、安心して学校に通わせることができます。
- ◆ 作成することで、効率よく、詳しく、子どものことを先生に伝えられてよい。ただ、支援シートを読んで、それを教室で活用して、子どもを支援できるかどうかは、先生の力量によるものが大きく、釈然としないこともある。
- ◆ 担任、支援学級担任、保護者で課題や方策を共有することができる。
- ◆ 次学年の担任(学級)に情報が伝わっていないと感じたことがある。
- ◆ 作成することで、保護者や本人の願いを明確にした上で、学校に伝えられる。またこのシートをもとに面談を行うことで、面談前に共通認識を持ち、より具体的に話し合うことができ、短時間でもお互い理解を深められたと思う。
- ◆ 保護者の願いに対し、具体的な対応策を立てて、説明していただけたのが良かった。
- ◆ 作成することで、たどっていた経過を正確な情報として伝えることができ、願いに沿った目標を先生方と共有することができたと感じます。
- ◆ 今のところは適切に行われていると思います。
- ◆ 日常生活で思ったことなどは先生との面談時には相談し忘れてしまうが、シートがあることで親の私達も問題点など整理しやすい。また、本人も交えて一緒に考えたりできるため、すごく助かる。また学校での生活態度は中々わからないが、てらし合わせて、改善点が合致したり、家ではできていたりできていなかったりする所もあるので大変良いです。本人も読んで「僕はこうなんだ」と自分自身を振り返ったり反省したりもできています。
- ◆ 引き継ぎ等に活かされていた。ただそれ以外であまり使われているのかどうかはよくわからないが、願いを伝え、引き継いで頂くことが大事なのかなとも思っている。活用されていたと感じている。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ シートを作成するにあたって、先生と話し合ったりできるので、保護者の考えと、本人の考えを明確に、通常の学級に伝えられることが、良かったです。

活用していない、有効といえないという意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 学校と保護者が情報を共有するためのものだと思っていたので、放課後デイや学童に見せて良いものとは思っていなかった。小学校では担任以外(専科の先生)には伝わっていなかった。
- ◆ 担任以外の教員に情報共有できていなく、不登校になりかけたことがあった。文字を書くのが苦手で、タブレットやPCでの入力による方法をとりたいが、全く相手にされない。何年希望を書き続けても伝わらない。
- ◆ 部活動等に関する希望があまり伝わっていないと感じます。
- ◆ 作成されていることはなんとなく分かってはいるが、活用の仕方についてはよく分かっていません。実際に他機関にて使用したことはないです。
- ◆ 学校生活支援シートを知らない。もらっていない。
- ◆ 支援シートを書いて提出しただけで、小学校から特に確認事項や面談の場などもなく、どこまで活用されているのかいまいち分からなかった。何かしらのフィードバックがあると安心です。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 中学は教科ごとに先生が違うので捉え方がそれぞれ違うと思う(小学校時は担任制なので細かくケアしてくれた)。
- ◆ 担任が子どもの特性に理解してもらえず、本人(子ども)の行動に否定的で支援シートの意味は全くないと考えている。
- ◆ 担任の先生が変わるたびに、いちから説明しなくてはならず、活用されているのか、と考える。
- ◆ 具体的にどのように役立っているか、効果を感じたことはない。担任にきちんと認識してもらえるのは良いと思う。毎年提出しなおすのは少々負担に感じる。
- ◆ 担任、通級の一部の先生にしか内容が伝わっておらず、一から話すことが多々ある。
- ◆ こちらとしては少しでも伝わるよう、毎年書いていますがこれがあまり活用されていないように感じます。担任の先生が代わるたびにこちらから面接もお願いしお話ししながら進めていますが、それも担任の先生の間人性によるところも大きく、きちんと寄り添って下さる先生とそうではない先生とで、本人への影響も大きいです。どのように活用しているのか学校側がきちんと示して欲しいです。そしてきちんと連携が取れる形を望みます。

- ◆ 「学校生活支援シート」をもとにした話し合いがほとんどないため存在の意味があまり感じられない。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 1年の時の担任に通級を勧められたが、担任が変わって、通級に通っている理由が引き継ぎされていなかった。

要望・提案等

(知的障がい固定学級)

- ◆ 1年間に1回ではなく学期単位での見直しも必要。成長を見てほしいが伝わっていないと感じる。
- ◆ 支援員にも伝えてあるのか不安(子どもの状況を)。母親が付き添っている状態なので、どこまで先生が理解してくれるのか不安が残る。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 総合的に分かるのはいいことだと思うが、前担任、次の担任、保護者、通級担当で話し合いの場を年一度設けて欲しい。紙だけで伝わらないことが多い。
- ◆ 学校とのやり取りに書面で残せることは大変意義のあることだと思います。学習障がいでは、小学校の授業だけでなく、今後、進学や入試などでも合理的配慮がとても重要となるため、その実績が残せるような記録の仕方が必要だと思います。

その他の意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 必要性がよくわからない。
- ◆ 学校生活支援シートというものを、知りませんでした。
- ◆ このシートがどれくらい具体的に使われているのか分からない。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 担任の先生にもよるのですが、支援の方向性が合わないこともあります。子どものためになさって下さっているのは解るのですが、どのようにお伝えしてよいのか、困ったことがありました。
- ◆ 学校の先生同士で情報を共有しているが、指導や配慮があるかどうか分からない。部活動も含めて活用した指導してほしい。

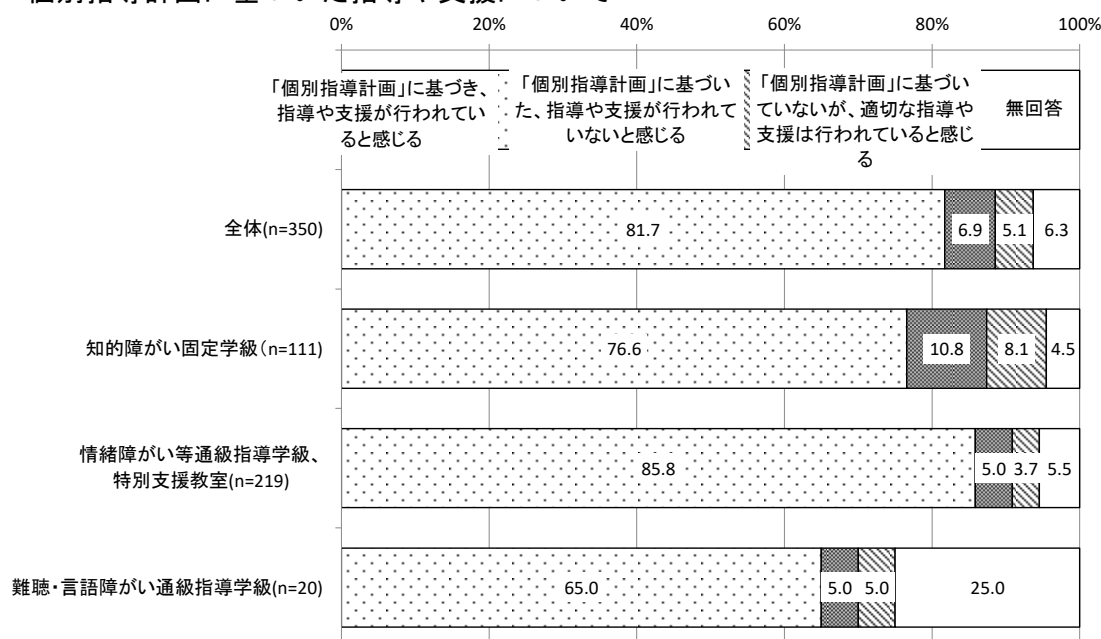
- ◆ シートの内容は、在籍のクラス担任、支援級の担任、保護者と共有できているが、他の先生に伝わっているのかはわからない。
- ◆ まだ、どのように活用されているのかわからない。
- ◆ 活用のしかたが分からないので、活用方法を教えてほしいです。
- ◆ 担任が変わると伝達が途切れる不安がある。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 作成はしていますが担任や主幹教諭以外に伝えられているかは、具体的にはわかりません。学年が、かわるたびに毎年説明している。どこまで具体的に伝わっているかは、微妙です。状況はその都度、変わるけれど、きっかけ、原因について、性格について、毎回説明しているので伝わっているか、不安になる時もある。が、学校側には配慮してもらっていると思う。

【「個別指導計画」について】

問 8-1 個別指導計画に基づいた指導や支援について



問 8-2 個別指導計画についてのご意見・ご感想

活用している、有効であるという意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 子どもの気になる点を指導計画にタイムリーに取り込んでもらえて良かった。
- ◆ 適切に支援のアセスメントができていて、短期、長期目的に沿った指導を行っていただき、子どもの成長を感じています。親としても振り返りや今後の目標が立てられとても安心できています。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ クラス担任、通級の担任と情報が共有され、良いと思います。
- ◆ 事前に学校生活支援シート、医療機関等から苦手とする部分を明確にした上で、伝えることにより、その内容を踏まえた個別指導計画の内容となっている。また、学期ごとにある面談、日々の連絡ノートの活用等で、常に柔軟な対応して頂いているので、個別指導計画を基本としつつ、とてもよく指導して頂いていると思う。
- ◆ 学校側がどのようなことを目標として、どのような対応をしているのかが、一目でわかって、とてもありがたいです。また、自分の子どもの特性を説明するとき、このような書面があると、とても便利です。

- ◆ 具体的にかかれていることにより、家庭でも手ごたえを感じるようになった。子どもにいくつもを望むのではなく、目標に限定して1つ1つやっていけることに、親も満足した。
- ◆ 目標があることで学校だけではなく家庭での対応もわかりやすく面談時にも話がスムーズ。
- ◆ 子どもの苦手な部分に対する具体的な指導内容が明示されており、家庭での指導や対応を考える上でも参考になる。また、指導の内容も子ども自身が楽しんで取り組み、自信をつけられるような内容になっており、とても良いと思う。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 通級と担任と家庭での連絡帳にて、学習方法などを共有でき指導方法を教えてもらったり、とても良いことと思っております。非常に助かっております。

活用していない、有効といえないという意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 教科の指導法がその年の担任によって異なる。一貫性がないので、個別指導計画をたててもあまり意味がない。
- ◆ 毎回同じつまづきがあったりすると、はたして効果はあるのか・・・?と疑問があります。
- ◆ 個別指導計画を知らない。これについても話を聞いたことがない。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 個別指導計画書の内容を知らない。
- ◆ 学校側と話して決めているらしいが、実際の所、学校側が特別支援学級と連携することに抵抗がある様に見える。また、学校側が、特別支援学級に親の対応をまかせっきりにして、学校の担任などが動かない、意見を受け入れている様に見える。決められたことだからと、事務的に作成している様に思える。
- ◆ 活用されていない。具体的な問題が解決されないまま。
- ◆ 教員と保護者の連携がとれていない。保護者まかせになる(最終的に)。

要望・提案等

(知的障がい固定学級)

- ◆ 個別の計画ということで、親と先生で共有するのは素晴らしいことと思うが、本人も目に見えてわかる様な体裁だと良いと思う。

- ◆ 先生が一生懸命やっただけでいることはわかります。ただ学年が変わる時に、先生の間での申し送りがあっても良いのではと思います。せっかく漢字の勉強も始めたのに、4月になって点線なぞりはどうなんでしょうか？子どもは言われたままだけをやっていますが……。学校でやっていることを、もっと伝えてほしいと思います。学校の授業内だけで終わらせていることがあまりにも多い。通常のクラスは自宅でもやっている様に思います。先生だけが全部やろうとせず、家庭にも伝え、一緒にやっていけば、子どもの成長にも繋がると考える。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 書字が苦手なのでタブレット教育などが普及することを願いたい。
- ◆ 通常の学級の先生には適正な指導ができない先生もいるので、指導者側に個別指導計画の必要性和指導力を浸透させてほしい。
- ◆ できれば、次学年の年度が始まる前に計画を作成してもらえると学期初めから計画を使った指導をしてもらえるのではないかな。

その他の意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 自信を付けていく、の具体案がなかった。
- ◆ あれができない、これができないとマイナス箇所の指摘、報告にとどまり、その後の対応策など前向きに取り組む姿勢が感じられない。
- ◆ 発達障がいグレーゾーンの子どもの理解をきめ細やかにしてもらえないと学校に通えません。家庭と学校との連絡を取っていても、少人数であっても家族や本人の努力だけでは一歩も進むことができず苦しんでいます。環境を変えるのが一番辛いことなので慣れた学校で慣れた友達の中で楽しく学校に通うことを願っています。短い時間でも個別指導があればきっかけ作りになるのではと思うことが度々あります。支援級なのに(だからこそ)あまりにも不満があります。
- ◆ 学校と家庭だけでなく、デイの先生、主治医、関わる指導者と一堂に会して情報を共有する時間があれば、周囲の大人達の協力も得やすいと思う。また、親は自分の子ども一人だけの知識でなく幅広く障がいについて知ることができ、有益だろうと思う。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 担任によってそれぞれなので、担任の先生がどこまで手を伸ばしてくれるか、知識があるかなどでかなりクラスでの困りや悩みはなくなるのだと感じる。通級などでの取り組みの他に、こうした方が本人が困らないなどのアドバイスを感じる時もある。

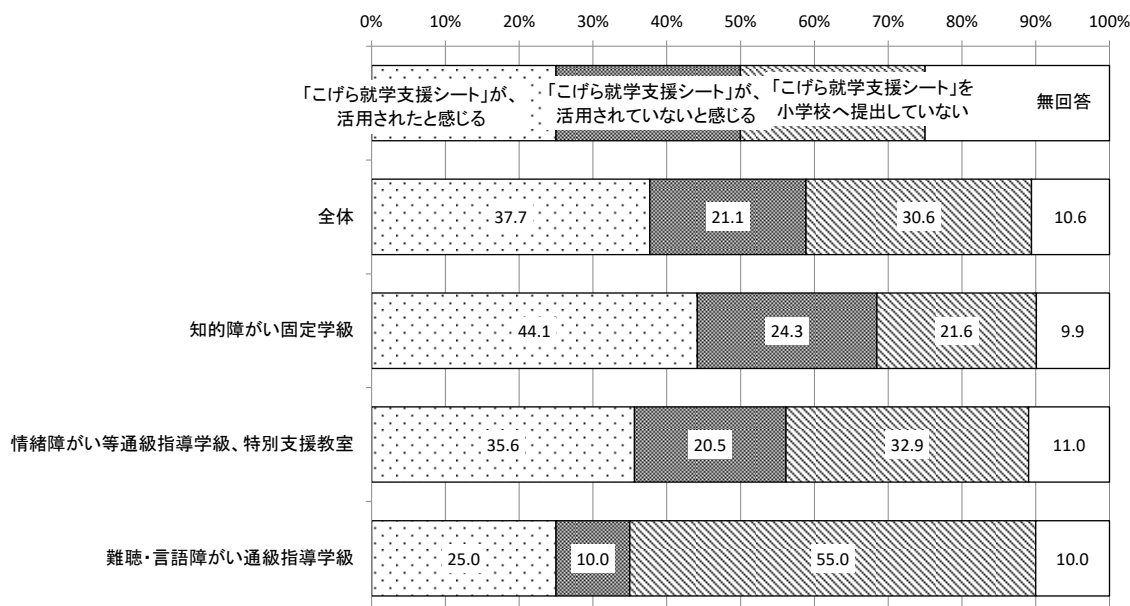
- ◆ 特別支援教室ではとても丁寧に見て頂けているが、学級の方ではあまり活用されている感じはしない。
- ◆ 子どもの様子は、その時間によって変わるので、子どもの様子をみながら、先生が必要と思うことをやっていただければよいと思う。親も連絡ノートでその都度やりとりできるので、特に個別指導計画にこだわる必要はないと思う。
- ◆ 本人の障がいには必要のない指導（学習障がいなのにコミュニケーションスキル）が計画されており、主治医の検査結果をもとにした見解を伝え変更してもらいました。計画に基づき指導されていましたが、計画そのものが本人に適したものでなく、個々の障がいに合わせたきめ細かい計画が必要だと思います。現在の特別支援教室の指導は、学習障がいへの対応が不十分だと感じます。
- ◆ 通級指導がはじまってからそもそも一度も見せてもらったことがありません。それどころか現在、通級側から不適切な対応をされ続け、今年度は一度も実施を受けられる状態にありません。誰の、何のための特別支援なのか、もっと勉強して本人のためになる場であってほしいと心から願っております。実態を把握していただき、適切な支援が受けられるよう改善をお願いします。
- ◆ 通級を受けている間は子どもの困りごとの手だてや対処法を通級の先生が教えて下さり、その指導により問題があっても比較的早期に解決される安心感がありますが、通級をやめた後に何かあっても子どもが自分で解決できるのか、周りの大人も気付いてあげられるのかが心配、不安な点です。子どもも通級での指導、先生と話せる時間を安心して過ごせる時間、場所と思っているようなので退級する際の見極めは慎重に行ってほしいです。
- ◆ もう少し専門的な答え、指導がほしい時もある。
- ◆ 毎回やっていることが変化したり、できることをずっとやっていたり、子どもに合わせているかはわからない。
- ◆ 目標設定が本人の実情と合っているかどうか、よく話し合っ決めてもらうことが大切だと思います。

（難聴・言語障がい通級指導学級）

- ◆ 個別指導計画とは何ですか？ 学校側だけで考えるものか家庭も交えるものなのか？その意図が伝わらない。何か記入した覚えもあるが、それに沿って、何がされているのかわからない。ただ、学年末に面談を行い、その内容に応じて、対応して下さったように感じる。家庭からの要望には応えているが、このような（個別指導計画様式例）様式の提案はないです。学校の対応に、今のところ不満はないです。
- ◆ 学級でどのように生かされているのかが不明。

【「こげら就学支援シート」について】

問 9-1 「こげら就学支援シート」の活用について



問 9-2 「こげら就学支援シート」の活用についてのご意見・ご感想

活用している、有効であるという意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 入学前に苦手なことや心配なことを伝えられて、安心できました。
- ◆ 小学校入学時、こげらシートのことで担任の先生が確認してくださり、配慮もしてくださいました。とても大切な連携の要素になっていると思います。
- ◆ こげらシートを事前を書くことで、どんな配慮や支援をしてほしいか、担任の先生に伝えやすかった。また、幼稚園の先生からの配慮を書いてもらうことで、自分の子の苦手なことがはっきりと分かり伝えやすかった。
- ◆ 保育園の先生にきちんと記入してもらえて良かった。自分で説明しにくいものを、きちんと伝えてもらった。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 入学後 1 年間は担任の先生が良い対応して頂いたので問題なく、シートを活用しなくても過ごせたが、2 年生になってから環境が変わり、担任の先生との相性が合わず問題が出てきたので、シートを記入しておいて良かったと思った。
- ◆ 保護者が困っていることや、園での様子を細かく伝えることができて良かった。入学してから支援シートについての面談等は無かったが、担任からの配慮は感じられた。

- ◆ 本人が説明できないため、とても良い資料だと思う。集団と家庭では、生活している様子が違うため、集団内の様子を幼稚園の方からも記入して頂けるのは本当に参考になるため、安心できた。
- ◆ 保育園の先生も詳細に記入して下さい、入学と同時に転居もあったので不安は大きかったです、小学校では本人に合った支援を受けることができ大変ありがたかったと思います。
- ◆ 子どもの身体にかかわることで記入したが、先生や学校できちんと対応されていると感じた。ただ、内容が「発達障がい」に関することだけにかたよっていると感じた。別の病気や気をつけてほしいことを書く欄が最後の「その他」の所しかなかった。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 入学時、幼稚園からの情報が生かされ共有され、入学後安心できた。

活用していない、有効といえないという意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 就学してから、先生が持っているところを、例えば個人面談などで、一度も見ることがない。保育園の先生や療育の先生が丁寧に書いて下さっているので、読んで欲しい。
- ◆ こげらシートに記入して学校に出してあるのに、活用されることなく、学校の鍵がかかるところに保管され、先生達に聞いてもどこにあるか分からない状態でした。先生方が分からない。次の学年にも引継がされないのであれば、こげらシートを作成した意味がありません。こげらシートの活用は特別支援学級や通常の学級に関係なくしっかり活用できるよう改善をしていただきたい。
- ◆ 入学時の面談で、事前にシートを提出したが、こちらが切り出さないとシートが活用されなかった。
- ◆ シートを記入したのに、担任の先生が目を通しておらず、こちらが改めて説明、その後なかなか面談をしてくれなかった。
- ◆ 入学前の資料の一式に、ただ入っているだけで、活用の方法が分かりにくい。説明会での説明も不十分に思う。特にグレーな子に必要なものだと思うが、そこに伝わらないと感じた。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 入学前に提出したが、特にそのことについて、聞かれることもなかった。

- ◆ 全然活用されていないと感じます。読みもしないと思います（←小1の担任）。園の先生も療育の先生も、しっかり記入して下さったのに、全く活かされておらず、残念でしかたありません。
- ◆ 記入していた内容を把握していないと思うことが多くあった。面談等で最初から説明しなければならず、時間のムダだと感じた。
- ◆ 子どもが苦手とすることや、保護者が不安に感じていることを詳細に記入したものの、入学後のクラスでは、全く配慮されている様子ではなく、むしろ子どもは担任教員から連日叱責を受け、辛い思いをしていた。

（難聴・言語障がい通級指導学級）

- ◆ 担任から次年度の担任へ引きつぎされていないし、面談時に見せてもらったこともない。そのため新年度に毎回同じ説明をしないといけない。

要望・提案等

（知的障がい固定学級）

- ◆ まさか支援級に移るとは考えもしなかったことであり、保育園、幼稚園の段階でこのシートを勧めてもらえたら良かったと思う。

（情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室）

- ◆ 手書きが辛い。できればPC等のデータで入力したい。
- ◆ 学校での生活と、こげら就学支援シートに書いたことが、一致しなくなったりしたときに、話しあいがあると良い。
- ◆ 入学前にシートを見ながら面談して頂いたので、安心して入学の日を迎えることができました。他に、学童も利用するので、学童の指導員の先生にもお渡ししました。シートの内容は「想定される一番困りそうな事柄」とも言え、入学後の本人の成長もあり、実際はシートにあるような様子がほとんど見られない、と言われることもありました。シートの内容と実態に差異が出てきた場合、対応も変わってくるでしょうし、新たな課題も出てくることもあるかも知れないので、いろいろな意味で、情報をアップデートして“今の”子どもに即した柔軟なものであってほしいな、と思います。
- ◆ 切れ目のない支援を行うために、就学支援シートは小学校6年間活用して欲しいです。（入学時のみならず）

その他の意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ シートのことを知らなかった。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 記入を求められる幼稚園や保育園は大変だと思う。子どもの様子は、どんな集団やどんな状態におかれているかで、大きく違ってくる。ちょっとしたことで問題なく過ごせることもある。それを、このシートで表現するのは無理がある。保護者や関係機関と必要な時に気軽に直接やりとりできればよい。シートの内容はもっと簡単でよい。
- ◆ こげら就学支援シートを記入したことは、自分が子どもの特性について、よく理解できていなかったため、記入が役に立ったのかどうか、よくわかりません。シートの記入の頃にもっと子どものことを理解できていたら良かったなと思っています。
- ◆ 言葉で説明（記入）することが難しく、どの項目に記入すべきか難しかった。
- ◆ こげらシートは問題児が出すもの、出したらずかしいと周囲の親は思っています。こげらシートについてもっとくわしく説明がいると思う。ただ渡されてもいまいちよくわからない。幼稚園の先生は必要だと思ったら、提出して下さいと言った方がいいと思う（出さなくて後悔したため）。
- ◆ 学習障がいのため、入学前には障がいは顕在化しておらず、こげらシートの必要性を全く感じなかった。
- ◆ 幼稚園の時、子どもの発達を心配に思い、園の先生に心配ごとを相談したが、発達障がいではなく、経験不足からでは、と言われスルーされたが、小学校で指摘され、発達障がいとわかった。幼稚園の知識不足と、園と小学校の連携が悪かった。小学校から、卒園した園にフィードバックも必要かと。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 状況に応じて変わるのでその都度対応してもらっている。

●乳幼児期●

《早期発見・早期支援の充実》

良好と評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 3歳児検診の時に保健師さんに発達検査を勧められたことがきっかけでいろいろ自分でも調べるようになり理解していけるようになったので良かったです。
- ◆ 1歳半健診で言葉の遅れを言われ、それから療育を受けることができました。全てここからスタートしました。とても感謝してます。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 1歳半で指摘された時は、とてもショックで落ち込みましたが、早くから療育を始められて良かったです。
- ◆ 早くから特性に気づき、対応できたのは助かった。周りに育て方が悪いと言われても、自分なりに気持ちを持ち直すことができた。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 乳幼児健診等で、コトバの発達を見ていただき、健康センターでのフォローは、良かった。心強かった。
- ◆ 乳幼児健康診査で子どもの異状が発見され、医療機関紹介と、適切な治療ができた良かったと感じております。

良好ではないと評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 心理発達相談に何度か行くが、子どもの状態(今何が出来るか)を伝えてもあまり聞いてくれず、はげまされるだけで、対処法を教えてもらえなかった。
- ◆ 発達相談で何度か利用しました。結果男の子だから様子見でと打ち切られたのですが、もっと親身になってほしかったです。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 乳幼児健診では、相談しても、「様子を見て下さい」と言われるだけで、特に何も支援などされなかった。
- ◆ 相談していたが異常がないと言われた。もっと早期に介入できていたらと思います。
- ◆ 3歳児健診の時に相談したのに、特に問題ないと断言されました。

- ◆ 乳幼児健診でもっとしっかり対応してほしい。 “しばらく様子を見ましょう、 “このくらいは大丈夫です、 などと言い、その後の対応、支援を怠り、発達の遅れが大きくなっている。
- ◆ 保護者の力だけで支援の場所を探すのが非常に難しい。(乳児の頃から育てづらく、何度も相談しましたが支援につながりませんでした。小学校に入り先生から支援は今まで受けられなかったですか？と言われ、乳幼児期に何もできなかったこと、今でも後悔しています。)

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 早期発見はできたが支援についてはなし。情報がなかった(一側性難聴について)。

要望・提案等

(知的障がい固定学級)

- ◆ 主に3歳児検診などで障がいがあるかないか分かるが、検査をしているのは主にボランティアのような方だらけ。特に見えない障がいの場合は必ず漏れている。言葉が遅い子、発達が遅い子に対してはもう少し突っ込むべき。定期的に巡回するなど、その後のフォローは絶対するべき。3歳児検診が一番重要。
- ◆ うちの子が生まれたのは10年も前のことになりましたが、障がいをもって生まれてきた我が子を思い、なかなか立ち直れず、聞く耳をもてない母親に対して後日のアフターフォローがほしかった。
- ◆ 1歳半、3歳児検診の時に発達では引っかけからなかったが、全員に発達テストを行ってほしい。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 乳幼児健診で、何人か、別室の心理士の先生との面談を案内され、私も順番待ちをしましたが、あまりに待ち時間が長く、多くの方が後日の電話での対応を希望し、帰られました。より早期発見に力を入れるなら、面談をスムーズに、よりスピーディにできるようにすべきと思いました。

その他の意見

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 親の自己申告によるところが大きく、親に自覚があるかどうか対象を見つけられるかに大きく影響していると思う。ただ、以前よりも改善されていると思う。
- ◆ 早期発見はとても良いと思うが、母親に知識がなく、「何を言われているのか」わからずに困ったことがあった。

《早期療育の充実》

良好と評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 健診で言葉の遅れがあったため、言語訓練を紹介されました。月 1 回でしたが、小学校入学まで楽しく通うことができました。
- ◆ 市内の療育機関でとてもお世話になりました。本人も、親、家族も、とても成長、安心できる場所でした。
- ◆ 児童発達支援、通所訓練、言語訓練全て利用してきました。適切なお指導により子はみるみる成長していきました。ST では通常困っていたことを適切にアドバイスいただき、安心して前向きに生活できるようになりました。とても感謝しています。
- ◆ 1 歳半から療育機関にて個別の言語訓練を受けました。言語聴覚士の先生には、我が子の障がい受容と親としての覚悟という局面で支え、ご指導いただき大変ありがとうございました。
- ◆ 保育園年中～年上まで ST に通っていました。1 対 1 で子どもに合わせた訓練をしてもらい、通う前より苦手なことを回避できるようになったりと子どもにとっていい訓練になりました。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 言語訓練やグループ訓練を受けられたので、言葉のつかい方や友達とのやりとりを少しは学べたと思う。
- ◆ 言語訓練に通っていましたが、子どもの特性に合わせて訓練していただきました。
- ◆ 4 歳の時に相談して言語聴覚士の先生にお世話になりました。とても成長しました。
- ◆ 幼稚園のほぼ 3 年間、言語訓練を受けました。担当の先生と本人の性格が合っていたのか、すごく成長したと思います。ありがとうございました。
- ◆ 言語訓練の先生が入学を見越して、療育をしてくれたおかげで、1 年生当初、つまりすぐことなくスタートできてよかった。児童発達支援施設から保育園へつなげていただけて良かった。
- ◆ 療育では、とても丁寧に指導いただき、感謝しております。アフターケアのこともいろいろ考えて下さいました。
- ◆ 我が子は言葉の遅れで、言語教室を利用していました。発達に関する相談先として、親の私にとっても心強い存在で、大変有難かったです。
- ◆ 療育を受けることにより親自身が育児の方法が理解できる。

- ◆ 児童発達支援のプレに当たるあそびの会から丁寧な指導と親の気持ちをくんだ対応を受けました。非常に感謝しています。これが無くして今はありません。
- ◆ 言語訓練を2歳半から利用できて、成長を見ることができ、とてもありがたかった（今、下の子が言語訓練を3ヶ月ほど待っている状況で、早く療育が開始できるとありがたいのですが・・・）。
- ◆ 言語相談で大変お世話になりました。幼稚園卒園後も、ずっとずっと見ていただけると、もっとありがたいです。

（難聴・言語障がい通級指導学級）

- ◆ 幼稚園の時に言語訓練に通い、早い段階で苦手な発音を知ることができました。

良好ではないと評価する意見

（知的障がい固定学級）

- ◆ 言語相談訓練する事業所が少ない。相談する場が混雑していて困った。
- ◆ 時間枠が取れない。少ないです。

（情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室）

- ◆ 相談や訓練がとても混んでいて、順番待ちに半年ほどかかった。もっと早く療育をスタートできるとよかったと思う。
- ◆ 療育の順番待ちが1年だった。その1年は、いつ始められるかわからないまま待ち続けた。
- ◆ 知的には問題のない子のグループ療育を受けられる所が少ない。
- ◆ 療育プログラムが少ない、又は長く待たされる。
- ◆ 小・中学生対象の療育施設が少ない。
- ◆ 小平市やその近辺で、発達をみてもらえる病院が少なすぎる。
- ◆ 市内の療育機関を利用させて頂いていたが、言語の先生が多いのか、発達のことを相談しても、「専門外だから」と度々言われた。専門の人につけてほしい。
- ◆ 数がまだ足りないと感じます。
- ◆ 不器用な点が気になり市内の療育機関に通ったが、言語聴覚の先生が担当で、うちの子の困りごとに気付いてもらえず、幼稚園卒園とともに、卒業で、大丈夫、発達も大丈夫でしようって終了になってしまった。その後、ASD、ADHDと判明。
- ◆ どの機関も、忙しいのはわかるが、早めの支援で子どもはどんどんかわれると思うので、もう少し面談などを行ってほしい。親への対応をしてほしい。

要望・提案等

(知的障がい固定学級)

- ◆ 小学校入学までは手厚く訓練してくれるが、入学後でも訓練をした方がよい子でも、固定学級で指導してもらうように言われる。しかし、固定学級の子どもの人数が多すぎてそこまで指導してもらえないため、きちんと訓練を受けたい。
- ◆ 児童発達支援施設に通っている子や通うような子の把握をしっかりとすべき。児童発達支援施設に通っている子でもIQテストや病院通院にまでもって行けず、施設の職員も親に対し、対応が困ることが多い。通っている子の保護者に対しても市が介入するべき。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 就学前の療育はだいぶ支援の場がありますが、就学後こそ公的な療育が必要であるのに存在しない。
- ◆ 言語訓練に通っていたが、できることなら、もう少し通えたら・・・と切に思った。園からやや遠かったのも、もう少し近いところにあると助かると思った。
- ◆ 発達障がいなのかそうでないのかグレーゾーンにいる子が増えていて親の悩みも多様化していると感じてる。「こんなことで相談して良いのかな？」と思うくらいのことをもっと話せる場を作って頂けたらありがたい。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 土曜や放課後の言語訓練が、小中になっても受けられるようにしてほしい。

その他の意見

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 発達特性を指摘されたのは、言語相談訓練の教室内でした。医師から早期の療育に乗り遅れているとの指摘を受けたものの、小学校に上がる前に情緒通級を利用して学校生活を送る体制を整えることができたので、乳幼児期で出会う機関は重要だと思う。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 言語訓練が、入所まちと聞き、結局、問い合わせをしなかった。もう少し気軽に入れる様だと、幼稚園時代に訓練しても良かったかなと思う。

《認定こども園、幼稚園、保育園での活動支援》

良好と評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ♦ 通っていた保育園の園長先生がとても理解ある方で、教室へ行けない時や登園を嫌がってる時などいつもサポートしてくださりととても恵まれてました。
- ♦ 保育園でも先生方のたくさんの協力、支援のおかげで子どもも楽しく過ごすことができました。担任の先生との毎日のやりとりから1ヶ月の指導計画を作っていただいたり子どもに向き合っていたいただきました。
- ♦ 保育園では4歳から加配の先生をつけてもらいました。そのおかげで、保育園での生活は安心して送れました。
- ♦ 予想外の出来事にパニックになってしまう息子のために、年中から朝に1日の予定を先生が書いてくれたノートを見るようになってから、パニックがとても減った。
- ♦ 加配として着任してくださった方がとても障がいについて前向きに取り組んでくださり、また、園、家庭、STの先生と三本柱で情報共有し、行動に移していただきありがとうございました。
- ♦ 幼稚園の頃、巡回の方にととても的確なアドバイスを頂きました。
- ♦ 幼稚園では言語教室の先生も園に来たりして、指導して頂き安心でした。
- ♦ 障がい者対応の幼稚園に編入し(1年半)理解のある先生方にご指導いただき、大きな集団でも社会性を身につけ、さらに成長も見られました。STの先生が巡回相談で幼稚園にて本児を見ていただき、園の先生へ困難行動への対応、アドバイスをしてくださり、連携してくださり助かりました。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ♦ 年長時に、保育園の先生から子どもの特性について指摘を受け、入学前に適切な対応をすることができたので、感謝しています。
- ♦ 補助の先生をつけていただき、周りの保護者にも助けてもらえる園生活を送れてよかった。
- ♦ 公立の園を卒園したが、療育で教えてもらった方法をすぐに取り入れてもらい、とても柔軟に対応してもらいありがとうございました。ただ、保育士によって、そこまでしてくれないこともあると思うので、共通理解で行ってほしい。
- ♦ 言語訓練で担当されている先生が、幼稚園での様子を観察して下さったり、幼稚園の先生への助言をして下さったり、とても安心できました。
- ♦ 巡回相談も、とても本人を良く理解してくださり、また指導いただき、私自身本当に助かりました。担当の先生にも本当お世話になりました。

- ◆ 児童発達支援事業所と保育園と言語の先生と巡回との連携がとれていて、何においても安心できました。心強かったです。とても感謝しています。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 巡回相談があるのは、助かる。保育士の理解や、障がい児の保育に関しては、まだまだ足りない部分がある。

良好ではないと評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 障がいのある子は通常の保育園、主に幼稚園には入れない。幼稚園は必ず1回は断られる。近くの幼稚園は受け入れてもらえず、遠くの幼稚園に通っている方、たくさんいます。
- ◆ 障がい児を受け入れてくれる園は、まだまだ少ないと思う。入れたとしても、他の子とは違い親が園で保育をしなければならない。保育の時間の短縮がある。
- ◆ 幼稚園に通っていたが、理解を得られず(加配等の理解をされず)、年長の2学期で退園しました。幼稚園園長、教諭も知的障がいについて、学ぶべきだと思う。
- ◆ 発達に遅れのある子どもへの理解が幼稚園によって差が見られます。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 気にかけて頂いたとは思いますが、特に指導を頂いたとかは無かったと思います。先生にももう少し発達障がいへの知識、配慮をして頂きたかったです。
- ◆ 私立保育園で、子どもの発達に問題を認めていたそうだが、親への通達はなかった。小1の終わりに小学校に呼び出されるまで、親は全く気付いていなかった。早めに知って、早期療育したかった。
- ◆ 通っていた幼稚園は、卒にハメる園だったのでうちの子はとても心もキズつけられたと思う。発達障がいにも気付いてもらえず。給食もむりやり居残りで食べさせられたりしていた。苦手なこともやらされて、子どもは今だに幼稚園大変だったと言います。
- ◆ 私立幼稚園だったので、幼稚園から拒否されると市は何もできないと、市の言語訓練と幼稚園で、一切連携できなかった。もうすこし何とかならなかったかと思えます(これは幼稚園側に問題あり)。
- ◆ 巡回相談等の保育士への教育が、全く効果がない気がする。きちんと園に対して教育してほしい。
- ◆ 言語療法による巡回指導を徹底して行ってほしい。園長をはじめ、保育士が発達障がいに理解がなすすぎる。外部の巡回や指導が大切なので積極的にやってほしい。

- ◆ 年長の時に1度巡回で見てもらったが、いわゆる「グレー」で、その後卒園までに見てもらえることはなかった。一時的（数時間）だけの様子を見ても分からないのでは？と感じる。

（難聴・言語障がい通級指導学級）

- ◆ 幼稚園の先生から、吃音を言われた際、いずれ直るものと、思っていました。しかし、専門家の治療が必要なものであることを、先生から伝えて頂けたら、もっと早くから、通所していたのに、という気持ちがあります。

要望・提案等

（知的障がい固定学級）

- ◆ 障がい児の受け入れをしてくれる園がもっと増えてくれれば良いと思う。

（情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室）

- ◆ 幼稚園によって対応の違いがありすぎます。A幼稚園では普通に受けられる支援が、B幼稚園では受けられなかったりします。幼稚園ごとに特色もあると思いますが、支援は同じように受けられるようになってほしいです。
- ◆ 保育士さんなどに発達に関する勉強会など学習の機会をもうけて欲しい。
- ◆ 通っていた幼稚園の先生方は発達障がいについてほぼ知識はゼロだった。小平の幼稚園（類似含め）先生向けにセミナーなどできないでしょうか。
- ◆ 障がい児の補助のための人員を増やせるようにしてほしい。人手があることで、安心や、差別、排除の防止になると思う。現場の先生が手いっぱいなのが辛い。
- ◆ 巡回相談事業のカウンセラー（グレーっぽいと判断した人）と保護者が面談等ができるとうい。

その他の意見

（情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室）

- ◆ 巡回しているのを知らなかった。
- ◆ 幼稚園にカウンセラーが来て、見てもらったが、その後の支援には結びつかなかった。
- ◆ とても良くしていただいたが、他の園児もいる中では、限界もあるのだろうとも思った。

●小・中学校期●

《発達に遅れのある子ども等と家庭の支援》

良好と評価する意見

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 愛の手帳を取得してからガソリン代補助やパーキング補助などの援助はとても助かっています。
- ◆ 学校よりも学習塾よりも、子ども家庭支援センター相談員の進路考察と指導・支援が子どもの実情を捉えていた所に、学校と機関の円滑な関係が見えて、利用する側は安心することができた。

良好ではないと評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 家庭のサポートは全くされていない。むしろどういったサービスがあるのか知らない保護者が多い。家での対応で困っているお母さん達たくさんいます。
- ◆ ファミリーサポートは手続きがすごくめんどろで、スタッフ中心に仕組みが なっており、全く機能的ではないです
- ◆ ガイドヘルプの利用がほぼできないようなので困っています。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 知能、身体の障がいがないと手当やサポートが得にくい。
- ◆ 発達障がいでの支援はない。
- ◆ ボーダーの子の支援が弱い。
- ◆ 無い。情報も無い。
- ◆ グレーゾーンの子どもでは支援されないことも多いかと・・・。
- ◆ 小平市として何をしているか、市民に伝わっていない。具体的な事例などを、見たことがないので、自分で調べないと、こういう支援があるということを知ることができなかった。
- ◆ 相談窓口が少ないと思います。特に子どもを支える保護者(母親)をサポートしてあげる窓口があると子どもの心も安定すると思います。
- ◆ 乳幼児期の充実さに比べ相談窓口など足りないように感じる。教員の増員を切に願う。
- ◆ 小学校に上がると、急に療育支援が切れてなくなり、不安ばかりでした。手薄になるのが感じられて困りました。
- ◆ ファミリーサポートを利用するのにハードルがある。学校と連携して欲しい。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ あまりよく情報が伝わっていない。

要望・提案等

(知的障がい固定学級)

- ◆ あることを知らないなので、情報をもっとあったら良いと思う。
- ◆ 肢体不自由の短期入所の受け入れ場所は多いが、発達遅れの受け入れ場所が少なすぎるため、増やしてもらいたい。各種手当でも愛の手帳4度の支援を増やしてもらいたい。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 最近ペアレントトレーニングを受け、もっと早く知っていればと思った。親、父親の意識を変えることで、子どもの成長に役立つと思う。
- ◆ 教育相談は中学生までなので、高校生の相談先が欲しい。
- ◆ レスパイトの施設があると良いと思う。情緒障がいの支援を増やして欲しい。本人も家族も困っていることがある時、頼れる所が少ないのが現状である。
- ◆ 各種手当の給付、減税、をもっと手厚くしてほしい。保護者も発達障がいの育児でとても疲弊しているので、金銭面で市から支えてもらえたらありがたいです。
- ◆ 医療機関以外に、保護者への相談窓口はもう少し充実していると助かります。
- ◆ 通所受給者証を申請する際の手紙の記入が大変すぎる。一年ごとに更新で同じものをまた書かなければならず、変更のない人は前の書類を引き継ぐなど、もう少し効率的にしてほしい。

その他の意見

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 手当あるの知りませんでした。
- ◆ 具体的にどういう支援が受けられるのか、あまり情報が入って来ません。また、どういう心配がある場合、どこに相談するのが良いのか、という情報もありません。
- ◆ 短期入所を利用したいと思うことがあるが、利用方法が分からない。仕事をしていると、相談受付時間内に利用できない。
- ◆ ファミサポは登録が必要だったり、使わなかった。助かったのは保育園の緊急一時保育だったが、2週間のみなのでその後が困った。
- ◆ 日中一時支援を何回か利用しました。あまり知らされていないのもっといろんな方が利用できたらと思います。

《就学先の選択や円滑な接続の支援》

良好と評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 小学校に上がる時は就学相談室でよく話を聞いてくれて、その後のこともスムーズに進んで進学できた。
- ◆ 小中の先生方が意見交換や情報共有されていると伺い、連携されていて心強かったです。
- ◆ 学校選択の相談ができたので良い機会となった。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 小・中連携教育をしていることで保護者も子どもも安心して中学生活を送ることができています。ありがとうございます。
- ◆ 小学校では手厚いサポートを受けていて、それに基づく適切な情報が中学校、情緒通級に提供されていることを実感している。中学校もできる限り限られた資源の中で支援して下さっていると思う。

良好ではないと評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 市の就学相談(個別の時)。事前にどんな内容なのか具体的に教えてほしかった。子どもの特性をその場ですぐ記入することが難しかった。
- ◆ 通級に入る時移行時期が重なって、同じ小学校内で通えるのか、他校に行くのか情報を出してもらえなかった。教育委員会の学務課就学相談は相談とは名ばかりで配慮の必要な子どもにきつく当たってとても不安になった。他にもある転学の可能性が出てきた時には担任と校長に相談して担当者を変えてもらうことにした。とても不満な思いが残るし再び会いたくない。
- ◆ 就学後に特別支援学級から通常の学級への変更の方法や手段などが、全く分からない。子どもの成長具合を見て、変更したいと思う保護者に対する支援がないように見える。
- ◆ 支援校に行くにあたって、もっとデイサービスのことを教えてほしかった。
- ◆ ボーダーの子への対応が弱い。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 就学相談室の対応が悪く、とても相談しづらい。
- ◆ 就学相談の手続や、相談日程の手順がわかりづらい。
- ◆ 入学時の、特別支援教室への入級についてなど、もう少し詳しく(手続の仕方、1学期入級にはいつ連絡すればよいか等) 分かるとよかった。

- ◆ 支援級の申し込みの大変さ、医者診断書、IQ（WISC）をとること・支援級へ面談することなど、市役所へ数回行き、元気村へ数回行き、学校へ数回行き、負担は大きすぎると思った。中学進学の際に就学相談へ行きましたが、「家でよく相談して支援級か通級か決めて下さい」とのこと。相談ではありませんでした。
- ◆ 通級クラスに通う前に審査があったがどんな議論を経て、通級の可否を決めているのだろうかと思う。透明性がなさすぎでは？
- ◆ 小→中へ上がると通級が減り、通うことが難しくなった。接続どころか、小学校で終わってしまう。
- ◆ 中学の通級に通う場合の段取りが遅い。2学期の面談で検査などの話を聞き、働いている者としては、大変だった。1人親の方とかもいるので、早く教えてもらえると良いと思う（小学校から連続で行けるのかとっていたので）。
- ◆ 小学校から、中学が引き継ぐということだったが、中学の先生は面接の時「初めて聞いた」という様子で、とても残念に思った。
- ◆ 各種機関の開いているのが平日の日中だけだと子どもが通いにくい。
- ◆ 先の見通しが見つからない中、相談できるのは医師以外に見当たらないため困ることがありました。

要望・提案等

（知的障がい固定学級）

- ◆ 知的だけでなく情緒の固定級もあると良い。
- ◆ 情緒の固定級があると良い。
- ◆ 学校に直接様子を見に来て、担任数、介助員数の確認をしてもらいたい（少なすぎるので）。知的、精神の学級を分けてください。
- ◆ 小平市内に小中を含め支援学級を増やしてほしい。少なすぎる。
- ◆ 就学時には「グレーゾーン」や「知的・身体障がい以外」の子どもに対してもう少し現実的な（シビアな）アドバイスをしてほしい。特にグレーや、見た目で見分けにくく、親が困ったり心配している時には、「こういうつらいことが起こりうる」ということぐらいは、話してもいいかと思う。「大丈夫」だけでは伝わらないし、大丈夫じゃないこともたくさんあった。

（情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室）

- ◆ 国分寺市と小金井市は、中学校で情緒障がいの固定学級があり、通常の学級と同じ勉強を進められると聞きましたが、小平市には無くとてもとてもかなしいです。国分寺・小金井市に住民票をうつすことも視野に入れていきます。
- ◆ 小・中に知的に遅れがない子どものための固定級があるとよい。

- ◆ 固定級判定の子を通常の学級に通わせた時の通級を利用できないペナルティをやめてほしい。情緒障がい固定級判定があるなら、情緒の固定級を作ってからにしてほしい。
- ◆ 情緒障がいの小学生は、通級の選択しかありませんが、情緒障がいの固定級も必要なのでは、と思います。
- ◆ 就学の説明はもう少し、くわしく教えてほしい。この進路を選ぶと、この進路になります、みたいに。支援級に行った子ども、保護者がとまどっていた。
- ◆ 幼稚園から小学校へ就学するときに、もっときめ細かい支援が必要。
- ◆ 小学校から中学校に進学する際、これまでの支援状況がわかりやすく伝わるシステムがあると良いと思います。
- ◆ ずっと相談でき、フォローしていただける体制を整えていただき、もっと円滑に話がつながっていくように示していただけるとありがたいです。 ※どこに相談にいけないの？とつながりが分からず、不安な所があります。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 吃音などの言語通級の支援が中学校で気軽に受けられないことが残念です。中学校にも言語訓練ができる環境があるとうれしいです。

その他の意見

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 通級への希望はあくまで保護者が気づかなければ、学校側からの提案等はないものでしょうか？中学進学に向けての準備や申請等もどのタイミングで教えてもらえるか、自分で調べなくてはいけないものかよくわかりません。
- ◆ 発達特性と学校の学力レベルに応じた教育方針の違い（自由と規律のバランスなど）。特に学力レベルと生活レベル、対人関係スキルのアンバランスで、どう学校を選べば良いか困る。
- ◆ 不登校の子の居場所がない。平日の児童館、図書館、地域センターを利用して、日中の居場所を設けて欲しい。あゆみ教室はあるが、遠く、低学年、中学生が通うのは厳しい。フリースクールも近辺に殆どなく、苦しい思いをしている親子は多いと思う。

《放課後の生活の支援》

良好と評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 現在、学童を利用しています。指導員の方達は適切に対応していると思います。
- ◆ 学童クラブでは一人付いてくれるのでありがたいです。放課後デイはどのようなところがあるのか分からず、もう少し情報を開示してほしい。
- ◆ 支援学級に通っているため、通はずの学区内小学校へは行けずでしたが、学童では昔からの友達に会えるのも楽しみの1つだったり、近所の友達との交流にもなっているので学童が選べること、スクールバスを頼めることなどとても良い支援だと思います（支援級とは別の学区内の学童へ通っています。）
- ◆ 6年間、学童へ受け入れていただき感謝してます。支援が必要な子への対応もよく理解していただき楽しく通うことができています。
- ◆ 放課後デイサービスは、学校までお迎えに来てくれて自宅まで送って下さり、とても感謝しています。学校以外で、家族以外（本人が）関わりをもとうとしませんが、放デイだと楽しんで通ってくれます。
- ◆ 放デイではしっかりと支援してもらっていると感謝しています。
- ◆ 放課後デイサービスを小学3～中学3年（現在）まで利用しています。本人が充実した放課後や夏休みなど充実した生活を送れ、また対人関係が豊かになり、大きな成長を遂げたことに感謝しています。
- ◆ 放課後デイサービスは他校の子どもと触れあう場所としてとても貴重です。週2日利用し、本人も楽しく充実しています。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 親からウイスクの結果を学童に提出するなど、積極的にアプローチした。学校から学童に連絡はいていないと思う。学童の先生も気にかけてくれるようで楽しく学童に通っており、大変満足している。
- ◆ 放課後デイサービスを利用していますが、今日はこういうことがありました。こういうことを頑張っていましたなど、とても詳しく説明して頂き、こちら、してもらいたいことや相談ごとなどいろいろ聞いて頂けると助かっています。
- ◆ 小学校での放課後子ども教室は、どの教室の先生やお手伝いの保護者も優しく見守ってくださっていたので、子どもがやりたい教室は、どんどん参加させました。多くのことを経験できてよかったです。

良好ではないと評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 学童クラブに入れる人数が少なすぎる。通常の子は定員オーバーしても受け入れをしているのに対し、障がい児は受け入れてもらえない。
- ◆ 学童クラブは障がい児受入数が少なく、学区外の小学校へ行かされたので、今後このような子どもが出ないでほしい。また、放課後デイサービスの受入れ時間が減り、母が働けなくなった。切れ目のないサービスをしてほしい。母の就労はない前提となっている。今の時代にあっていないと思う。
- ◆ 学童の障がい児の受け入れ人数が少ない。放課後等デイが少なく、入りたくても入れない子どもが増えている。
- ◆ 放課後デイサービスの数が少なく入れない。
- ◆ 放デイが少ない。通えても週1回程度。
- ◆ 中学の固定学級にデイサービスのお迎えが来てくれるデイサービスが少なすぎて困る。駅から遠い施設が多いので徒歩では通えない。結局親が送っていかなければならない。
- ◆ 放課後デイサービスの数が少なく見学すら断られることがあった。現在市外のデイに在籍しているが、学区外のためなじめない。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ この数年で学童クラブの過密化が進んでおり、発達障がいの子どもにとっては、より過ごしにくい状態になっている。放課後子ども教室や放デイでは就労支援の役割を担ってほしい。
- ◆ 情緒障がい等で通級利用だと、学童クラブが3年までなので困る。放課後デイサービスの預かり時間が短く、また、同日に2施設かけもちもできず、長期休業時は困っている。
- ◆ 学童クラブの話は学校からあったが、その他の支援について、親に情報が流れてこないため、あることを知らなかった。どこで支援の情報を得れば良いかが、わからない。
- ◆ 放課後等デイサービスに関する情報が少なく困りました。施設に問い合わせても、どこも満員で、1年前からキャンセル待ちという所もありました。新しくできた所に偶然入れたので助かりましたが、そういう情報を就学説明会や相談の時に教えてもらえていたら、もう少し早く動けたのと思います。
- ◆ 放課後デイサービスを利用しようと見学に行ったが、どこも定員いっぱい、利用できなかった。
- ◆ デイサービスがどこも一杯で入れなかった。中には書かれている連絡先につながる所もなかった。

要望・提案等

(知的障がい固定学級)

- ◆ 放課後デイサービスがもっと増えるとうれしい。
- ◆ 放課後等デイサービスの対応日や時間を拡充してほしい(父母の就労に支障が出ています)。
- ◆ 放課後等デイサービスの充実をさらに希望します。事業所数の増加、情報の提供、通所するための支援。
- ◆ 我家は放デイにお世話になっていますが、人が一杯で入れないことや、長期休みも日によっては利用できないので、受入場所や人数を増やしてほしいです。
- ◆ 質の良い放課後デイも資金難で苦しんでいる。国の制度を見直してほしい。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ グレーゾーンの子は学童を3年までしかいられないので、その後が心配。長期休みだけでも年齢制限を撤廃してほしい。
- ◆ 小平市も学童クラブを6年生までにしてほしい。発達障がいの子は、少し(精神的に考え方が)幼い部分もあるので、通常より、あと1・2年多く学童を利用できたら助かりました。
- ◆ 学童にも発達支援の専門家を配置していただくのが理想だが、現実的にむずかしいならば、通級クラスとの連携を取ってほしい。
- ◆ 学童クラブや放課後子ども教室において、子ども自身に困ったことなどはないと言っておりますが、特支に通っていることや支援内容などについては、情報共有されていません。(とくに面談する機会なども設けられていないため、これまで情報を提供することはありませんでした。) より支援が必要なお子さんの場合、そうした機会や情報の共有は必須ではないかと思います。
- ◆ 通常判定と支援級のグレーな状態で放デイを探しましたが、望むデイを探す事ができませんでした。発達障がいに特化した放デイを望みます。
- ◆ 学童のように放課後デイサービスをたくさんつくってほしいです(発達障がいのための)。
- ◆ 入学した当初なかなか学童になじめず、放課後等デイサービスを検討してインターネットで検索したのですが情報がまとまっておらず、またどこに相談していいかわからずに苦勞しました。情報がもう少しまとまっているとありがたいと思います。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 障がいのある子どもの学童の受け入れは、6年生までであるが通常の学級の子どもの枠が1～3年生までなので、6年生まで拡大してほしい(共生)。

●卒業後●

《卒業後の機関に支援をつなぐ》

要望・提案等

(知的障がい固定学級)

- ◆ 中学卒業後は、進路が多岐に分れるので、ある程度まとまった手引きがあると良い。
- ◆ あまりよく知らない。市の担当者の方が保護者向けに学校などで説明会などをしていただけるとありがたい。
- ◆ 進路先へ中学校の様子について、きちんとつないでほしいです。
- ◆ 進路先（高校）へ情報提供して下さると助かります。
- ◆ 固定学級から、通常の高校に進級できないことで、進路を決めるのにとっても本人も困難な立場にいます。希望者には調査書をつけてほしいと思います。
- ◆ 関係機関とのつながりをしっかりしてもらいたい。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 公立・私立問わず、具体的な取組み内容等、情報が欲しいのですが、どこで入手できるかという部分から分からないため、そういった部分含め情報発信をしていただきたいです。
- ◆ これからです。いつも後手になるので、もう少し早く情報が欲しいです。通常の学級に通う発達障がい児はどうなるか想像が付きません。
- ◆ やる気はあるが、特性のため成績が悪くても受け入れてもらえる高校があるという話を他の保護者から教えてもらっている。学校からそういう情報をもらえるとありがたい。
- ◆ 進学先の選択肢が増えていくといいです。

その他の意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 情報がなく分からない。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 今後中学に上がることについて、おそらく内申がとれないであろうことが不安です。
- ◆ まだ将来どうなるかわかりませんが、やはり不安です。
- ◆ ものすごく不安です。

- ◆ 小学 3 年では何の情報もない中学受験も視野に入りたいのに、何から手をつけて良いかわからない。
- ◆ 進路について「考えておいた方が良いでしょう」と学級担任からは言われたが、具体的にどう調べて検討してよいか分からない。
- ◆ 発達障がい理解がある私立中学を探したかったが、情報を手に入れることができなかった。自分でホームページや学校説明会に行くなど、多大な時間をかけて見つけた。一覧などがあるといいのになあと感じた。

《就労支援》

良好と評価する意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 就労支援はとても良かった。
- ◆ 我が子に関してはまだこれからですが、支援の充実を望みます。また、この度中学校の職場体験先として市役所指導課が受け入れてくださり喜んでおります。ぜひ来年度以降もよろしく願いいたします。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 現在利用している放課後等デイサービスの指導が、就労先の対応でも使えるスキルを伸ばす効果も期待できるのありがたい。

要望・提案等

(知的障がい固定学級)

- ◆ 情報を学校等にもっと入れてほしいです。
- ◆ 小平市でどのような活動をしているのか知りたい。
- ◆ 就労に対してもっと知識やどんな仕事内容なのかといったことを知れる機会を増やしてほしい。
- ◆ 高校等を卒業して地元に戻ってくる場合、具体的に相談できる窓口があると有難い。
- ◆ 高校は特別支援学校ですので、就労し支援は充実されていると思いますが、将来離職した際にはいろいろお世話になりたいと思っています。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ いろいろな人が働きやすい職場環境作りを進めてほしい。

その他の意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ 知らない。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 発達障がいや引きこもりの人が気軽につかえるジョブコーチや家事援助、同じ特性をもつ仲間との語らいの場など、これから必要になっていくことくらいだろうと思う。
- ◆ まだ小学生のため分からない。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ まだ分からない。

《地域でのかかわり、学ぶ場の提供》

良好ではないと評価する意見

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 義務教育終了後の居場所が就労できない障がい者だとないとよく聞きます。

要望・提案等

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 世代、障がいを越えて、インクルーシブな地域文化を育てていくことを願っています。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 所沢に国立の言語訓練をする病院がある。そこと連携して、学習の支援にあたってほしい。

その他の意見

(知的障がい固定学級)

- ◆ また何かしら興味が出てくる物が出てきたら、つなげていきたい思います。
- ◆ 知らない。
- ◆ 情報がなく分からない。

(情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室)

- ◆ 地域の方々が発達特性を個性として受け入れる度量が大きいように思う。地域の大人に受け入れられている体験の積み重ねと安心が本人にとって最大の療育になっている。
- ◆ 小平市内にそういう所があるのか知らない。
- ◆ 知らない。

(難聴・言語障がい通級指導学級)

- ◆ 知られていない。

【調査票】

特別支援学級等に関するアンケート調査について

ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

目的

小平市教育委員会では、小平市立学校における特別支援教育を充実するために、「小平市特別支援教育総合推進計画(第二期)前期計画」を策定いたします。特別支援学級や特別支援教室、通級指導学級に在籍するお子様の保護者の方に、本市の小学校や中学校で行われている特別支援教育についての状況とご意見等を把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

今後、この調査結果を参考に、特別支援教育の推進計画の策定及び更なる充実、推進を図ってまいりたいと考えております。

対象

このアンケート調査は、知的障がい固定学級、情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室、難聴・言語障がい通級指導学級に在籍するお子様の保護者の方に、調査票をお送りしています。

調査票は無記名です。回答者が特定されることはありません。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理するとともに、適正に取り扱い調査目的以外に使用することはありません。

記入

ご回答は調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて投函してください。

ご兄弟姉妹の関係により、ご家庭に2枚以上配布された場合は、年齢が一番高いお子様について、ご回答ください。

締め切り

11月25日(月)

その他

同時期に障がい者支援課が実施する調査と重複した場合は、ご無理のない範囲でご回答ください。

令和元年11月

小平市教育委員会

【お問合せ先】

小平市教育委員会教育部指導課 教育相談担当

電話：042-343-9271(直通) 担当：野口

042-341-1211(内線 3335) 担当：杉浦

FAX：042-346-9578

(土日祝日を除く、
平日午前9時～午後4時30分)

特別支援学級等に関するアンケート調査票（知的障がい固定学級）

回答方法

各設問について、該当する項目に「○」をご記入ください。回答が「その他」にあてはまる場合は、その項目を○で囲み、()内にその内容を具体的に記入ください。

1 現在、在籍する学年について、お答えください。（○は1つ）

| 小学生 | | | | | 中学生 | | | |
|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 1年 | 2年 | 3年 |
| | | | | | | | | |

2 知的障がい固定学級での指導は、何年生から受けていますか。（○は1つ）

| 小学生 | | | | | | 中学生 | | |
|-----|----|----|----|----|----|-----|----|----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 1年 | 2年 | 3年 |
| | | | | | | | | |

3 知的障がい固定学級を考えるようになった理由について、お答えください。（あてはまる項目すべてに○）

| 回答欄 |
|-------------------------------|
| ① お子さんの特性を踏まえた支援が必要と思ったから |
| ② 教育内容・指導方法等がお子さんに合っていると思ったから |
| ③ 将来のお子さんの進路や自立を考えたから |
| その他 [] |
| ④ [] |

4 お子さんが、知的障がい固定学級で指導を受けていることで、良かったと感じているところはありますか。（あてはまる項目すべてに○）

| 回答欄 |
|------------------------------|
| ① お子さんが自信をもって、楽しく学校に行くようになった |
| ② お子さんの特性にあった指導を受け、成長している |
| ③ 将来の進路に向けて、準備をすることができる |
| その他 [] |
| ④ [] |

5 知的障がい固定学級についてどの程度満足していますか。①～③のそれぞれの項目で、「1～4」のいずれか1つに○をしてください。

| | 満足している | 少し満足している | あまり満足していない | 満足していない |
|---------------------------------------|--------|----------|------------|---------|
| ① お子さんへの個別の指導 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 小集団（グループ）での指導 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ お子さんの特性に応じた指導 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ お子さんの特性に応じた教室の学習環境や、掲示物、教材等 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ お子さんが身の回りのことをできるようになった | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ お子さんの進路や将来についての情報の提供 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 教員が特別支援学校や専門家と連携している | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ ICT機器を活用した授業や学習支援 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ 通常の学級で一緒に授業が受けられる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩ 教員が指導内容を具体的に教えてくれたり、家庭でできることを教えてくれる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪ 指導内容が進級先や進学先に引き継がれている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑫ 学童、医療機関、放課後等デイサービスなどの関係機関と情報共有している | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑬ 「※合理的配慮」を提供している | 1 | 2 | 3 | 4 |

※ 合理的配慮

障がいによる学校での学習面や生活面での困難さを解消するために、必要に応じて提供される個別の配慮や支援（学校の負担になり過ぎない範囲）

6 小平市教育委員会の特別支援教育の推進や充実に向けた取組について、①～⑩のそれぞれの項目で、最もあてはまる番号に○をしてください。(各項目について、「知っている/わかる」方は「1～4」のいずれか1つに○、「知らない/わからない」方は「5」に○をしてください。)

| | 知っている/わかる | | | | 知らない/わからない |
|------------------------------|-----------|-----------|---------|---------|------------|
| | 満足している | あまり満足している | 満足していない | 満足していない | |
| ① 教育相談室などの相談機関 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 特別支援学級の数や指導内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 教員の障がいに関する専門性 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 介助員・特別支援教育支援員の配置人数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 特別支援教室の指導時間数や指導内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 就学・転学相談での説明 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 保護者を支援する取組(保護者向けプログラムの実施等) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 通常の学級における支援や学習環境の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ 認定こども園、幼稚園、保育園と小学校の情報共有や連携 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ 小学校と中学校間での情報の共有や連携 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪ 特別支援教育や障がい理解についての情報の発信 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

7 「学校生活支援シート」について
「学校生活支援シート」とは、本人や保護者の希望を踏まえて、医療や相談窓口などの関係機関と連携して、乳幼児期から学校卒業後までの一貫性のある支援を行う長期的な基本計画です。

(1) 「学校生活支援シート」の活用について、お答えください。(○は1つ)

| | 回答欄 |
|-----------------------------|-----|
| ① 「学校生活支援シート」が、活用されていると感じる | |
| ② 「学校生活支援シート」が、活用されていないと感じる | |

(2) 「学校生活支援シート」を学校以外の機関に情報提供していますか。(あてはまるものすべてに○)

| | 回答欄 |
|----------------------------|-----|
| ① 病院などの医療機関 | |
| ② 子ども家庭支援センターや教育相談室などの相談機関 | |
| ③ 放課後等デイサービスや学童クラブ、習い事など | |
| その他 ④ [] | |

(3) 学校生活支援シートについて、ご意見・ご感想などがございましたら、ご記入ください。

(例) 作成することで、保護者や本人の願いを学校に具体的に伝えられた
(例) 担任以外の教員にシートの内容が伝わっていないことがあった

<学校生活支援シート様式例>



10 小平市特別支援教育総合推進計画後期計画においては、学校教育の充実の他、9つの基本的施策を展開し、特別支援教育の事業の充実及び整備に取り組みました。各施策について、ご意見・ご感想などがございましたら、ご記入ください。

| | 基本的施策 | 記入欄 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------|-----|
| | 早期発見・早期支援の充実 (主な事業) 乳幼児等健康診査・発達支援に関する相談拠点の整備と活用等 | |
| 乳幼児期 | 早期教育の充実 (主な事業) 児童発達支援、通所訓練事業、言語相談訓練事業等 | |
| | 認定こども園、幼稚園、保育園での活動支援 (主な事業) 巡回相談事業、幼稚園教師、保育士の理解・啓発、障がい児の保育・教育の充実 | |
| | 発達に遅れのある子ども等と家庭の支援 (主な事業) 各種手当の給付、短期入所、ファミリーサポートセンター事業等 | |
| 小・中学校 | 小・中学校の選択や円滑な接続の支援 (主な事業) 就学支援委員会・就学相談の実施、小・中連携教育の推進等 | |
| | 放課後の生活の支援 (主な事業) 学童クラブへの障がい児の受入、放課後子ども教室、放課後等デイサービス | |
| | 卒業後の機関に支援をつなぐ (主な事業) 進路先・関係機関との連携 | |
| 卒業後 | 就労支援 (主な事業) 就労支援事業 | |
| | 地域でのかわり、学ぶ場の提供 (主な事業) 生涯学習の場の充実、けやき青年教室 | |

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
 同封の返信用封筒に入れて、11月25日（月）までに
 投函してください。

【お問合せ先】

小平市教育委員会教育部指導課 教育相談担当
 電 話：042-343-9271(直通) 担当：野口
 042-341-1211(内線 3335) 担当：杉浦
 F A X：042-346-9578
 (土日祝日を除く、平日午前9時～午後4時30分)

特別支援学級等に関するアンケート調査票（情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室）

回答方法

各設問について、該当する項目に「○」をご記入ください。回答が「その他」にあてはまる場合は、その項目を○で囲み、() 内にその内容を具体的にご記入ください。

1 現在、在籍する学年について、お答えください。（○は1つ）

| 小学生 | | | 中学生 | | | | | |
|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 1年 | 2年 | 3年 |

2 情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室での指導は、何年生から受けていますか。（○は1つ）

| 小学生 | | | 中学生 | | | | | |
|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 1年 | 2年 | 3年 |

3 情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室を考えるようになった理由について、お答えください。（あてはまる項目すべてに○）

| | |
|-------------------------------|-----|
| ① お子さんの特性を踏まえた支援が必要と思ったから | 回答欄 |
| ② 教育内容・指導方法等がお子さんに合っていると思ったから | |
| ③ 将来のお子さんの進路や自立を考えたから | |
| ④ その他 | |
| () | |

4 お子さんが、情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室で指導を受けていることで、良かったと感じているところはありますか。（あてはまる項目すべてに○）

| | |
|------------------------------|-----|
| ① お子さんが自信をもって、楽しく学校に行くようになった | 回答欄 |
| ② お子さんの特性にあった指導を受け、成長している | |
| ③ 将来の進路に向けて、準備をすることができる | |
| ④ その他 | |
| () | |

5 情緒障がい等通級指導学級、特別支援教室についての程度満足していますか。①～③のそれぞれの項目で、「1～4」のいずれか1つに○をしてください。

| | 満足している | 少し満足している | あまり満足していない | 満足していない |
|---------------------------------------|--------|----------|------------|---------|
| ① お子さんへの個別の指導 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 小集団（グループ）での指導 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ お子さんの特性に応じた指導 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ お子さんの特性に応じた教室の学習環境や、提示物、教材等 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ お子さんが身の回りのことをできるようになった | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ お子さんの進路や将来についての情報の提供 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 教員が特別支援学校や専門家と連携している | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ ICT機器を活用した授業や学習支援 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ 担任の先生に支援内容を伝えてくれる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩ 教員が指導内容を具体的に教えてくれたり、家庭でできることを教えてくれる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪ 指導内容が進級先や進学先に引き継がれている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑫ 学童、医療機関、放課後等デイサービスなどの関係機関と情報を共有している | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑬ 「※合理的配慮」を提供している | 1 | 2 | 3 | 4 |

※ 合理的配慮

障がいによる学校での学習面や生活面での困難さを解消するために、必要に応じて提供される個別の配慮や支援（学校の負担になり過ぎない範囲）

6 小平市教育委員会の特別支援教育の推進や充実に向けた取組について、①～⑩のそれぞれの項目で、最もあてはまる番号に○をしてください。(各項目について、「知っている/わかる」方は「1～4」のいずれか1つに○、「知らない/わからない」方は「5」に○をしてください。)

| | 知っている/わかる | | | | 知らない/わからない |
|-------------------------------|-----------|----------|------------|---------|------------|
| | 満足している | 少し満足している | あまり満足していない | 満足していない | |
| ① 教育相談室などの相談機関 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 特別支援学級の数や指導内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 教員の障がいに関する専門性 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 介助員・特別支援教育支援員の配置人数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 特別支援教室の指導時間数や指導内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 就学・転学相談での説明 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 保護者を支援する取組(保護者向けプログラムの実施等) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 通常の学級における支援や学習環境の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ 認定こども園、幼稚園、保育園と小学校の情報の共有や連携 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ 小学校と中学校間での情報の共有や連携 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪ 特別支援教育や障がい理解についての情報の発信 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

7 「学校生活支援シート」について

「学校生活支援シート」とは、本人や保護者の希望を踏まえて、医療や相談窓口などの関係機関と連携して、乳幼児期から学校卒業後までの一貫性のある支援を行う長期的な基本計画です。

(1) 「学校生活支援シート」の活用について、お答えください。(○は1つ)

| | 回答欄 |
|-----------------------------|-----|
| ① 「学校生活支援シート」が、活用されていると感じる | |
| ② 「学校生活支援シート」が、活用されていないと感じる | |

(2) 「学校生活支援シート」を学校以外の機関に情報提供していますか。(あてはまるものすべてに○)

| | 回答欄 |
|----------------------------|-----|
| ① 病院などの医療機関 | |
| ② 子ども家庭支援センターや教育相談室などの相談機関 | |
| ③ 放課後等デイサービスや学童クラブ、習い事など | |
| ④ その他 | |

(3) 学校生活支援シートについて、ご意見・ご感想などがございましたら、ご記入ください。

(例) 作成することで、保護者や本人の願いを学校に具体的に伝えられた
(例) 担任以外の教員にシートの内容が伝わっていないことがあった

<学校生活支援シート様式例>



10 小平市特別支援教育総合推進計画後期計画においては、学校教育の充実の他、9つの基本的施策を展開し、特別支援教育の事業の充実及び整備に取り組みまいりました。各施策について、ご意見・ご感想などがございましたら、ご記入ください。

| | 基本的施策 | 記入欄 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 乳幼児期 | 早期発見・早期支援の充実 (主な事業) 乳幼児等健診診察・発達支援に関する相談拠点の整備と活用等 | |
| | 早期療育の充実 (主な事業) 早期発達支援、通所訓練事業、言語相談訓練事業等 | |
| 小・中学校期 | 認定こども園、幼稚園、保育園での活動支援 (主な事業) 巡回指導事業、幼稚園教諭、保育士の研修・研修、障がい児の保育・療育の充実 | |
| | 発達に遅れのある子ども等と家庭の支援 (主な事業) 各種手帳の給付、短時間所、ファミリーサポートセンター事業等 | |
| 卒業後 | 就学先の選択や円滑な接続の支援 (主な事業) 就学支援委員会・就学相談の実施、小・中連携教育の推進等 | |
| | 放課後の生活の支援 (主な事業) 学童クラブへの障がい児の受入、放課後子ども教室、放課後等デイサービス | |
| 卒業後 | 卒業後の機関に支援をつなぐ (主な事業) 連絡先・関係機関との連携 | |
| | 就労支援 (主な事業) 就労支援事業 | |
| | 地域でのかかわり、学ぶ場の提供 (主な事業) 生涯学習の場の充実、けやき青年教室 | |

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
 同封の返信用封筒に入れて、11月25日（月）までに
 投函してください。

【お問合せ先】
 小平市教育委員会教育部指導課 教育相談担当
 電話：042-343-9271(直通) 担当：野口
 042-341-1211(内線 3335) 担当：杉浦
 FAX：042-346-9578
 (土日祝日を除く、平日午前9時～午後4時30分)

特別支援学級等に関するアンケート調査票（聴覚・言語障がい通級指導学級）

回答方法

各設問について、該当する項目に「○」をご記入ください。回答が「その他」にあてはまる場合は、その項目を○で囲み、()内にその内容を具体的に記入してください。

1 現在、在籍する学年について、お答えください。（○は1つ）

| 小学生 | | | | | | 中学生 | | |
|-----|----|----|----|----|----|-----|----|----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 1年 | 2年 | 3年 |
| | | | | | | | | |

2 聴覚・言語障がい通級指導学級での指導は、何年生から受けていますか。（○は1つ）

| 小学生 | | | | | | 中学生 | | |
|-----|----|----|----|----|----|-----|----|----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 1年 | 2年 | 3年 |
| | | | | | | | | |

3 聴覚・言語障がい通級指導学級を考えるようになった理由について、お答えください。（あてはまる項目すべてに○）

| 回答欄 |
|-------------------------------|
| ① お子さんの特性を踏まえた支援が必要と思ったから |
| ② 教育内容・指導方法等がお子さんに合っていると思ったから |
| ③ 将来のお子さんの進路や自立を考えたから |
| その他 ④ [] |

4 お子さんが、聴覚・言語障がい通級指導学級で指導を受けていることで、良かったと感じているところは何ですか。（あてはまる項目すべてに○）

| 回答欄 |
|------------------------------|
| ① お子さんが自信をもって、楽しく学校に行くようになった |
| ② お子さんの特性にあった指導を受け、成長している |
| ③ 将来の進路に向けて、準備をすることができる |
| その他 ④ [] |

5 聴覚・言語障がい通級指導学級についてどの程度満足していますか。①～③のそれぞれの項目で、「1～4」のいずれか1つに○をしてください。

| | 満足している | 少し満足している | あまり満足していない |
|---------------------------------------|--------|----------|------------|
| ① お子さんへの個別の指導 | 1 | 2 | 3 |
| ② 小集団（グループ）での指導 | 1 | 2 | 3 |
| ③ お子さんの特性に応じた指導 | 1 | 2 | 3 |
| ④ お子さんの特性に応じた教室の学習環境や、掲示物、教材等 | 1 | 2 | 3 |
| ⑤ お子さんが身の回りのことをできるようになった | 1 | 2 | 3 |
| ⑥ お子さんの進路や将来についての情報の提供 | 1 | 2 | 3 |
| ⑦ 教員が特別支援学校や専門家と連携している | 1 | 2 | 3 |
| ⑧ ICT機器を活用した授業や学習支援 | 1 | 2 | 3 |
| ⑨ 担任の先生に支援内容を伝えてくれる | 1 | 2 | 3 |
| ⑩ 教員が指導内容を具体的に教えてくれたり、家庭でできることを教えてくれる | 1 | 2 | 3 |
| ⑪ 指導内容が進級先や進学先に引き継がれている | 1 | 2 | 3 |
| ⑫ 学童、医療機関、放課後等サービスなどの関係機関と情報を共有している | 1 | 2 | 3 |
| ⑬ 「※合理的配慮」を提供している | 1 | 2 | 3 |

※ 合理的配慮

障がいによる学校での学習面や生活面での困難さを解消するために、必要に応じて提供される個別の配慮や支援（学校の負担になり過ぎない範囲）

6 小平市教育委員会の特別支援教育の推進や充実に向けた取組について、①～⑭のそれぞれの項目で、最もあてはまる番号に○をしてください。(各項目について、「知っている/わかる」方は「1～4」のいずれか1つに○、「知らない/わからない」方は「5」に○をしてください。)

| | 知っている/わかる | | | | 知らない/わからない |
|------------------------------|-----------|----------|------------|---------|------------|
| | 満足している | 少し満足している | あまり満足していない | 満足していない | |
| ① 教育相談室などの相談機関 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 特別支援学級の数や指導内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 教員の障がいに関する専門性 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 介助員・特別支援教育支援員の配置人数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 特別支援教室の指導時間数や指導内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 就学・転学相談での説明 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 保護者を支援する取組(保護者向けプログラムの実施等) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 通常の学級における支援や学習環境の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ 認定こども園、幼稚園、保育園と小学校の情報共有や連携 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ 小学校と中学校間での情報の共有や連携 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪ 特別支援教育や障がい理解についての情報の発信 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

7 「学校生活支援シート」について
「学校生活支援シート」とは、本人や保護者の希望を踏まえて、医療や相談窓口などの関係機関と連携して、乳幼児期から学校卒業後までの一貫性のある支援を行う長期的な基本計画です。

(1) 「学校生活支援シート」の活用について、お答えください。(○は1つ)

| | |
|-----------------------------|-----|
| ① 「学校生活支援シート」が、活用されていると感じる | 回答欄 |
| ② 「学校生活支援シート」が、活用されていないと感じる | |

(2) 「学校生活支援シート」を学校以外の機関に情報提供していますか。(あてはまるものすべてに○)

| | |
|----------------------------|-----|
| ① 病院などの医療機関 | 回答欄 |
| ② 子ども家庭支援センターや教育相談室などの相談機関 | |
| ③ 放課後等デイサービスや学童クラブ、調い事など | |
| その他 | |
| ④ [] | |

(3) 学校生活支援シートについて、ご意見・ご感想などがございましたら、ご記入ください。

(例) 作成することで、保護者や本人の願いを学校に具体的に伝えられた
(例) 担任以外の教員にシートの内容が伝わっていないことがあった

<学校生活支援シート様式例>

10 小平市特別支援教育総合推進計画後期計画においては、学校教育の充実の他、9つの基本的施策を展開し、特別支援教育の充実及び整備に取り組みました。各施策について、ご意見・ご感想などがございましたら、ご記入ください。

| 基本的施策 | | 記入欄 |
|------------------------------------------------------------------------|--|-----|
| 早期発見・早期支援の充実 (主な事業) 乳幼児等療育施設等・発達支援に関する相談拠点の整備と活用等 | | |
| 乳幼児期 早期療育の充実 (主な事業) 児童発達支援、通所訓練事業、居宅相談訓練事業等 | | |
| 認定こども園、幼稚園、保育園での活動支援 (主な事業) 巡回相談事業、特別活動助、保育士の理解・啓発、障がい児の保育・教育の充実 | | |
| 発達に遅れのある子ども等と家庭の支援 (主な事業) 各種手当の給付、転入対応、ファミリーサポートセンター事業等 | | |
| 小・中学校 就学先の選択や円滑な接続の支援 (主な事業) 就学支援委員会・就学相談の実施、小・中連携教員の推進等 | | |
| 放課後の生活の支援 (主な事業) 学習クラブへの障がい児の受入、放課後子ども教室、放課後等デイサービス | | |
| 卒業後の機関に支援をつなぐ (主な事業) 進路先・関係機関との連携 | | |
| 卒業後 就労支援 (主な事業) 就労支援事業 | | |
| 地域でのかわり、学ぶ場の提供 (主な事業) 生涯学習の場の充実、けやき青年教室 | | |

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、11月25日（月）までに
投函してください。

【お問合せ先】
小平市教育委員会教育部指導課 教育相談担当
電話：042-343-9271(直通) 担当：野口
042-341-1211(内線 3335) 担当：杉浦
FAX：042-346-9578
(土日祝日を除く、平日午前9時～午後4時30分)

特別支援学級等に関するアンケート調査報告書

令和2年4月発行

編集・発行：小平市教育委員会教育部指導課

〒187-8701

東京都小平市小川町二丁目 1333 番地

電話番号 042 (341) 1211 (内線 3335)

FAX 042 (346) 9578

電子メール shido@city.kodaira.lg.jp

価格 ￥300